

平成30年度

公立高等学校入学者選抜
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会

ま え が き

公立高等学校の入学者選抜学力検査問題については、入学者の選抜に際し極めて重要な資料となることから、中学校学習指導要領の趣旨に、より即する出題内容となっているかについて継続的な調査研究に取り組み、出題方法の工夫や改善に努めてきたところである。

本報告は、平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜における前期選抜（平成30年1月31日実施）及び後期選抜（平成30年3月6日実施）のそれぞれの結果について、以下の二点を目的として、分析及び考察を示したものである。

- 1 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- 2 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

分析に当たっては前期選抜の全日制課程受験者の中から200人、後期選抜の全日制課程受験者の中から400人を抽出し、それぞれの答案を標本として、教科ごと、小問ごとの正答及び誤答等を分析し考察した。また、小問ごとに、正答率に加え得点率も示した。さらには、抽出標本を中学校の学習成果をもとに三つの階層に分類し、それぞれの得点率も示し、今後の学習指導の参考となるように努めた。

本報告が中学校、高等学校はもとより、多方面で活用されることを願うものである。

平成30年8月

宮城県教育委員会 教育長 高 橋 仁

目 次

前 期

I	受験状況	4
II	出題の基本方針	
III	学力検査の結果（全日制受験者）	
1	総点	
2	各教科の成績	
3	各教科の得点分布	
IV	各教科の分析	5
1	標本の抽出	
2	分析の方法	
3	各教科の分析結果の概況	
<	問題, 正答と配点, 正答率・無答率・得点率・その他 >	
	国 語	6
	数 学	12
	英 語	18
<	出題のねらいと内容・結果の考察 >	
	国 語	24
	数 学	25
	英 語	26

後 期

I	受験状況	28
II	出題の基本方針	
III	学力検査の結果（全日制受験者）	
1	総点	
2	各教科の成績	
3	各教科の得点分布	29
IV	各教科の分析	30
1	標本の抽出	
2	分析の方法	
3	各教科の分析結果の概況	
<	問題, 正答と配点, 正答率・無答率・得点率・その他 >	
	国 語	32
	社 会	38
	数 学	44
	理 科	50
	英 語	56
<	出題のねらいと内容・結果の考察 >	
	国 語	64
	社 会	65
	数 学	66
	理 科	67
	英 語	68

前 期

I 受験状況

表1に今年度前期（連携型を含む）及び前年度前期の学力検査の全教科受験者数を示す。

表1 学力検査受験者数

年度	全日制	定時制	計
平成30年	8,180	213	8,393
平成29年	7,998	196	8,194

II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、思考力、判断力、表現力及び知識・理解等を総合的にみることをねらいとした。

また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な力を的確に捉えることができるように工夫した。

III 学力検査の結果（全日制受験者）

1 総点

全教科受験者の総点について、表2に度数分布表を、図1に相対度数分布図を示す。

表2 総点の度数分布表

得点区分	平成30年度		平成29年度
	人数	割合(%)	割合(%)
0～50	94	1.1	2.6
51～100	1,166	14.3	14.5
101～150	2,348	28.7	21.5
151～200	2,371	29.0	26.9
201～250	1,911	23.4	27.9
251～300	290	3.5	6.6
計	8,180	100.0	100.0

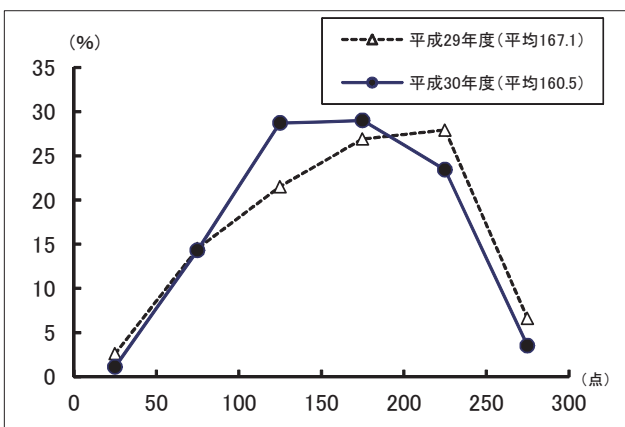


図1 総点の相対度数分布図

2 各教科の成績

表3に各教科の受験者と合格者の平均点と、前年度の受験者の平均点を示す。

表3 各教科の平均点

教科		国語	数学	英語	総点
区分	平均	62.4 (53.0)	48.4 (50.8)	49.7 (63.3)	160.5 (167.1)
	最高	98	95	100	284
	最低	3	0	0	10
合格者		63.8	49.2	50.8	163.7

()内は前年度の平均点

3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語、数学、英語の得点の相対度数分布図を、以下に示す。

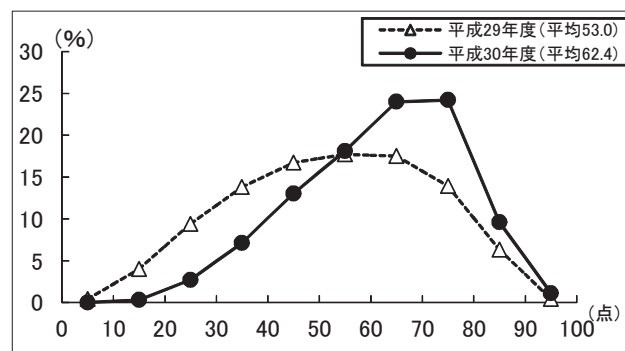


図2 国語

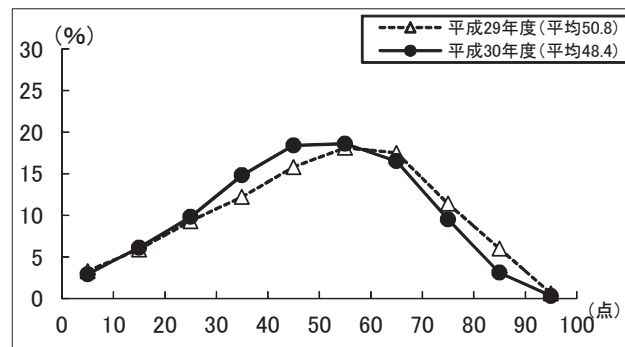


図3 数学

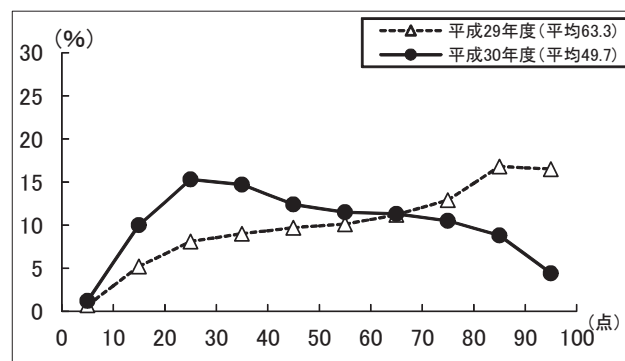


図4 英語

IV 各教科の分析

1 標本の抽出

分析等の調査は、抽出した標本によって行った。

標本については、まず全日制の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点をもとにして25校・学科を抽出し、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計200人を抽出し標本とした。

2 分析の方法

小問ごとに正答率（完全正解の割合）、無答率を算出し、得点率（配点に対する平均点の割合）も算出した。加えて、標本を調査書総点をもとに三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率も算出した。さらに、誤答例・誤答傾向について、できるだけ詳細に取り上げ、分析を行った。

3 各教科の分析結果の概況

国語 平均点 62.4点（前年度比 +9.4）

語句の意味や展開を捉えて文章を読むこと、目的に応じて適切に書くことに課題

話すことに関する事項、言葉の特徴やきまりに関する事項は正答率が高く、知識の定着が見られる。その一方で、語句の意味や表現の工夫を的確に捉える問題、文脈に即して読み取り、適切に表現する問題での得点率が低い。記述問題での無答率も高く、解答しても展開を踏まえずに本文中の表現を抜き出すだけのものが多かった。語句の意味を的確に捉えて読むことや、読み取ったことを整理して適切に書くことに課題が見られる。

読み取る力を育むためには、様々な文章に触れさせて語彙力を高めさせ、語句の意味や表現の工夫を正確に押さえて、構成や展開を丁寧にたどらせる指導の工夫が必要である。また、目的に応じて話したり書いたりする活動を通して、相手に伝わるように適切に表現する力を育てる指導が求められる。

数学 平均点 48.4点（前年度比 -2.4）

具体的な状況を式で表現し数学的に処理する力、既習事項を基に多面的に考える力に課題

基礎的な数と式の計算、確率の問題については得点率が高く、定着が図られていると考えられる。一方、「関数」領域と「図形」領域の正答率が低く、課題が見られた。

「関数」領域では、二つのグラフの交点から数量を読み取る力は身に付いているが、一次関数の式を用いて正確な値を計算する力が定着していないことが課題としてあげられる。

「図形」領域では、線分の長さや面積を求めるために図形の特徴を捉える力が必要であ

る。相似な三角形の発見や補助線などの活用を通して、図形を多角的に考察する活動の充実が望まれる。

英語 平均点 49.7点（前年度比 -13.6）

語のつながりに注意して英文を構成する力、内容を的確に読み取り説明する力に課題

コミュニケーション活動の中で用いられる基礎的な表現の定着がみられ、会話の流れをつかむ問題の正答率は高かった。一方で、関係代名詞や前置詞を含む整序問題では、文法知識の定着が不十分であり、得点率が低かった。また、まとまった英文における指示代名詞の内容を説明する問題でも、適切に表現することができていない。英作文においては、3文程度の内容につながるのある英文を書くことに、力の差が見られた。

語のつながりや基本的な文構造に関する知識などを身に付けさせるとともに、内容を把握するための発問を工夫し、口頭ではもちろんのこと、書いて表現させることで、読解力・表現力を向上させる必要がある。また、身近な場面の出来事や体験について、自分の考えや気持ちを英語で表現することを繰り返し、相手に正しく意図が通じるような表現力を育成することが求められる。

各教科の詳細については、24～26ページの**2**結果の考察に示す。

第一問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

高校一年生の「あたし」(美由・久樹・亜池)は、吹奏楽部に入学した。コンクールに向けた練習が始まったある日、久樹は、その日の練習について「新鮮だった」と二人に話した後、黙っていた。

久樹が視線をバス停に並ぶ列に向けた。それから、科白を手織り寄せると、くしくし言った。

「何か、積み木みたいだから」

「積み木？」

これは意味がわからない。今度は、あたしが首を傾げる番だった。

「ああ、積み木ね、なるほど」

亜池くんが指を鳴らす。パチッと鈍い音しか出ない。

「……どういふこと？」

だから、積み木なんだよ。各パートが三角とか四角とかの積み木で、それが合さって、いろいろな形になる。城とか、ロケットとか、ボールとかさ。積み木でボールは作れないだろうと思っただけ、言い返さなかった。そんな些細なことはどうでもいい。

その積み木が、積み木の「言」が、ずっと心と胸に落ちた。パート練習の後、全体での合奏が行われた。普通なら、最初から曲を全部通すとはありえない。問題点が出てくるごとに中止して、注意を伝える。指摘された点を該当パートが演奏して、また合奏に戻るといのが、全体練習の基本だった。

でも、今日だけはという限定で、顧問の小行先生は曲を止めないで全部、演奏させた。一生に聴かせるためだ。

あたしの耳でも、メロディと伴奏の微妙な、いや、かなりのずれや、音程のブレからくる「うなり」を聞きとれたぐらいだから、納得にはほど遠い内容だったろう。

それでも、胸に迫った。

黒曜曲も自由曲も、CDで何度も聴きはした。プロの演奏だ。ずれもブレも敬服なもの。でも、あたしのすぐ前から流せられ、あたしを包み、あたしにぶかき跳ね返る音にあたしは惹き込まれた。これが、生の演奏の迫力なのだ。それは、パート練習の充実感とは違う、大きなうねりの感情だった。「あ、こんな風に曲が出来上がっていくのかって、新鮮だった。びっくりした」

久樹さんの頬が上気している。それこそ、驚いてしまった。こんな風に居ることを喜ぶんだ。ただ、久樹さんの意識が理解できる。それが嬉しい。

「バスが来たよ」

(あさの あつこ「アレグロ・ラガツツ」による)

*をつけた語句の《注》
天然——ここでは、意図せずとばけた言動をすること。
首肯——うなずくこと。
愛憎——「あたし」の親友。別の高校で吹奏楽部に入学した。

問一 本文中に「科白を手織り寄せられるように」とありますが、このことを説明したもので、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 心を感したところとよく一致する言葉を探し出すようにということ。
イ 見たことや触れたことをそのまま書き出していくようにということ。
ウ 自分が思ったことを言葉として表すのをためらうようにということ。
エ 舞台の上で役者が観客に向かって語りかけているようにということ。

問二 本文中に「だから、積み木なんだよ。」とありますが、次の文は、この言葉から始まる亜池の発言について説明したものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

今日の練習で曲が A 過程を体験した久樹が、その感情を表して言った「積み木みたい」というたとえは、亜池は B し「あたし」にもその意味を分かっていると思っっている。

(一) A にははまる言葉を、本文中から八字でそのまま抜き出して答えなさい。

(二) B にははまる言葉として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 歎息 イ 驚嘆 ウ 共感 エ 産胆

問三 本文中に「胸に迫った。」とありますが、「胸に迫った」のはなぜですか。二十字以内で答えなさい。

①「それで、さ」
亜池くんがひよいと前に出る。

「久樹さん、自分がどんな積み木かイメージできた？」

ええ、積み木のイメージ？ 何のこと？

「子供の亜池くんが、まだ、意味不明のことをしゃべっている。そう思ったのに、久樹さんははっきりと首肯したのだ。」

「うん、できたよ」

「そろか、さすがだな」

「自分がどこにいるのか、どんな形なのか色なのか大ききなのか、頭に浮かんだよ」

「そろか、さすがだな」

「亜池くんは、まったく同じ科白を同じ風遣いで口にした。」

②動機がする。

心臓がドクン、ドクンと大きく鼓動を打つ。

久樹さん、ちゃんと聴き取っているんだ。

全体の演奏の中で、「自分の音」がどこでどう生きるかを、既に掴んでいるんだ。イメージできるんだ。

あたしは、到底とまでは。楽譜にそって音を出すのがやっとなのだから。全体の中の自分を意識するなんて無理だ。

久樹さんには、それは、久樹さんには天賦の才とやらがある。生まれたとき、天からの賜り物を受け取っている。だから比べても仕方ない……。わかってはいるけど、やっぱり無情としてしまう。そろか、久樹さんが理解できると

「嘘でいいよ。それが俺さかし。何に能天気なんだろ、うーと。」

愛の構築、久樹さんの才能もないあたしは、まだ、置いていかれるんだろ、か。

また、そんな暗い思考に引きずられそうになる。

「我がが、後へ回れよ。」

「そろか、美由、いいかげんにしろ。」

「自分が自分だぞ。」

「そろか、そろか、さすがな、さすがだな」

「亜池くんは正直で、ただただ率直に感心していた。」

「おれなんか、譜を追っかけるだけで、いっぱいいっぱいなんだよ」

③「あたしは思いつく、亜池くんを見上げていた。」

「そろか、そろか、そろか、あたしと同じ？」

「亜池くんが、あたしを見返した。唇がもそっと動く。」

「急げー」

「はい？」

問四 本文中に「それで、さ」とありますが、この言葉から分かる亜池の様子を説明したもので、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他の二人とは異なる考えを述べたい気持ちを抑えようとしている。
イ 自分がこれかする責任に久樹の意識を向けさせようとしている。
ウ 現実的な明るい話題に切り替えていこうとしている。
エ 黙ってこる「あたし」を話題に引き込まうとしている。

問五 本文中に「心臓がドクン、ドクンと大きく鼓動を打つ。」とありますが、このときの「あたし」の様子を説明したもので、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 久樹の言葉が意味していることと自分が考えていたことが似通っていることに気づき、今後への期待が高まってくる様子。
イ 久樹の言葉の勢いや吹奏の固さが自分の体中に響きわたり、うらたえてしまふ、少しずつ物事を考えられなくなっていく様子。
ウ 久樹の言葉によって自分が負の感情に入り込んでいることに気づき、久樹に追いつくために努力をしなければならぬと奮い立つ様子。
エ 久樹の言葉から自分との才能の差を思い知らされ、理解できたと思っていた久樹が遠かっているのではないかと不安が広がる様子。

問六 本文中に「そろか、そろか、そろか、あたしと同じ？」とありますが、このときの「あたし」の気持ちを、四十五字以内で説明しなさい。

問七 本文の表現の特徴について説明したもので、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 第三者の視点から登場人物の動作や表情を描写することで、物語に重厚感を与え、興味をよこしている。
イ 会話と会話の間に情景描写を挿入することで、緊張感を生み出し、登場人物の心情を浮き上がらせている。
ウ 「あたし」が心の中で発した言葉をそのまま描写することで、「あたし」の心情の起伏を効果的に表現している。
エ 客観的な事実を簡潔に文で描写することで、「あたし」の状況や性格や大胆な行動を明確に描き出している。

第二問 次の文章を読んで、おの問いに答えなさい。

当然のことながら、同じく、あるものの代理物としてその意味を提示し、伝達し、表現する「記号」であるにかかわらず、写真とことばとは相当に遠く離れたものとしていた。そのことを、機が知る限り最も明瞭に述べたのは、名編集長で、日本の報道写真家の草分けの一人でもあった名取洋之助(一九一〇～一九七二)だ。

名氏は著書となった『写真の読みかた』(一九六三)で、「記号としての文字と、記号としての写真との大きな違い」とは、「文字は実物と関係がないが、写真は実物とらちまちと密接な関係があるということ」だと述べている。たとえば、「犬」という文字(ことば)と、「犬の写真」について考えてみることにしよう。「犬」は美観の犬とは直接的な対応関係を持たない(象形文字との密接な関係には多少その名残りはあるが)。だからこそ、「犬」という概念(意味)は、「いぬ」でも、「イヌ」でも、あるいは「dog」という英語でも伝達することかきえるのである。

「犬の写真」の場合はどうだろう。その写真に写っているのは、それが撮影された時にそこにいた、ある特定の犬の映像である。このような直観性、具象性が、「記号」としての写真を特徴づけている。逆にいえば、「広辞苑」に掲載されているような「犬」という抽象概念(「ネコ目(食肉類)イヌ科の哺乳類。よく人になれ。嗅覚と聴覚が発達し云々……」)を、写真で表わすことはできない。どんなに努力しても、「ままとする名前の隣の飼犬」とか、「ままとする婦の道で見た野良犬」とかの、具体的にリアルな映像でしか伝えることかきえないからである。

もう一つ、写真とことばには大きな違いがある。それは、写真は画面全体を一度に把握できるようにして、ことばは断片的、かつ継起的にしか記述することかきえないということだ。どんな写真でもよいが、一枚の写真に写っているものを、ことばで描写する時のことを考えてみよう。厳密に言えば、画面の隅から隅まで目を走らせるには多少の時間がかかるが、写真を見ればははは瞬のうちにその内容を理解できるだろう。

ところが、それをことばで記述しようとする、たとえば「画面の上部には桜が咲きか、そこには白い繡菓子のような雲が浮かび、その下には深い森と湖、湖の岸辺には古い城云々……」と、きわめてまだるっこしい作業が要求される。まさに「百聞は一見に如かず」と、しかも百万言を費しても、一枚の写真に含まれる視覚的情報を、完全に書き尽くすのは無理というものである。写真はことばと比較すると、より過剰で多義的な「記号」といえる。ことばで描写するその先から意味がふれ出てきて、それらをすてすくいく取り除くのは不可能なのだ。

このように見ると、ことばと写真の「記号」としての働き方はまるで正反

対で、それらを同時に使こなすのはむずかしいように思える。機にしても、「写真評論家」として、写真をことばで解釈したり、分析したりする作業にずっと関わってきたのだが、しよせ「翻訳」以上のことはできないと考えている。文法体系もまた、連日英語やフランス語を日本語に置き換えるのと同じように、写真をことばに「翻訳」することで、写真家たちの作品世界をわかりやすく、広く理解できるような形で伝えるということである。

ところが、この仕事を繰り返しているうちに、とても奇妙な事に気づいた。写真とことばを同時に、しかも両方とも高度に練り上げられた形で使っている人たちがいるのだ。それは、他ならぬ、写真を撮影し、発表することを業として、写真家たちである。彼らが書いた文章を読むと、驚きとともにショックを受けることがよくある。僕などが苦労して「翻訳」してきたことばが、軽々と、しよせ的確に表現されていることが多々あるのだ。

むしろ、写真家の中には、撮影と制作という本来の仕事に専念して、文章をほとんど発表しない人も少なくない。しかし、僕が重要で、面白い仕事をしていると考える写真家たちは、ほとんど例外なく優れた文章の書き手でもある。これは、いったいどういうことなのだろうか。なぜ、彼らは写真とことばとを、まったく異なる「記号」を、自在に使こなすことができるのだろうか。

いろいろ考えているうちに、スポーツ競技との共通性に思い至った。これも例外はあるだろうが、優秀なスポーツ選手は、自分の技術について、その競技の原理や特質について、きわめて雄弁に、説得することばで語ることもできるものだ。プロ野球のイチローや、サッカーの中田英寿のことを思い浮かべていただければいいだろう。

彼らは(写真家もそうなのだが)、修練によって身体的反応を鍛え上げる。しかし、たとえ百万分の一秒の単位で反応する筋肉がきまがったとしても、それだけでは優れた選手にはなれない。その身体的反応がどんな意味を生み出していくのか、競技文法(構法)においていかなる位置にあるのかを、正確に判断し、認識してはけなければならぬのだ。そして、そのような判断や認識は、ことば以外では空からつかみ出されたような、眼観のないものではない。

それは彼らの身体の動きのアートを積み上げることで、少しずつ見出され、定着していったものだ。アートのことは描写されることで、操作可能なものとして実体化される。そしてそれはふたたびアートの反映され、その有効性を高めていく。このような、身体的反応とことばとのいきいきとした相互関係こそ、名選手たちの素晴らしいアートの秘密なのではないだろうか。

写真家たちも同じである。一瞬の判断が要求される撮影と制作の行為は、ことば化されたことばによって、彼らにとっても、そして彼らの写真を見る者

によって、く、きりとした手応えを持つものとなる。それらのことばは、彼らが新たな被写体を求めて、ふたたびカメラを手にする時に、その行動指針として生み出されていく。

(飯沢 耕太郎「写真とことば」による)

*をつけた語句の(注)>
遺著 著者の没後、出版された書物。
継起的 引き続いて起こる様子。
まだるっこしい 手回らなくて遅いこと。また、しれっこしいこと。
業 生活を立てていくための仕事。

問一 本文中に「写真とことばとは相当に遠く離れた働き方をしている」とありますが、次は、このことについて文章に沿ってままとめたものです。おの(一)、(二)の問いに答えなさい。

Table with 2 columns: 「記号」としての写真, 「記号」としてのことば. Rows include terms like 実物を、対象の精緻を、対象から情報を抽出して伝達.

(一) A、B にはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- A A 象徴 I B 現実 E A 空間 I B 時間
ウ A 具体 I B 抽象 E A 視覚 I B 聴覚

(二) C にはまる言葉として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- A 選択 I 加工 ウ 連続 H 一括

問二 本文中に「目を走らせる」とありますが、このことを説明したものと、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- A 真偽を自分なりにいくこと。 I 情報を拾い上げていくこと。
ウ 表現を味わっていくこと。 E 条件を読み解いていくこと。

問三 本文中に「しよせ「翻訳」以上のことはできない」とありますが、次の文は、このことを説明したものです。 A、B にはまる言葉を、本文中からそれぞれ五文字とそのまま抜き出して答えなさい。

写真評論家は、写真家が撮影した写真をことばに A、ことばでも、その写真の B を自ら言うわけではないので、作品そのものをことばで表現するには限界があるということ。

問四 本文中に「スポーツ競技との共通性に思い至った」とありますが、次の文は、このことを説明したものです。 に入る適切な表現を考えて、二十文字以内で答えなさい。

重要で面白い仕事をしている写真家たちが優れた文章の書き手でもあるのは、優秀なスポーツ選手と同じく、自分自身の行為を ことができているからだとして、筆書が気づいたということ。

問五 本文中に「身体的反応とことばとのいきいきとした相互関係」とありますが、これはどういう関係ですか。その説明として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- A 身体の動きの意味や効果をことばに教し修練の成果を自覚できるようにすることで、身体を動かすことへの意欲を保持やまていくという関係。
I 他者の優れた身体の動きをことばに教して書き留めておくことで、自分の身体の動きを説明するためのことばを豊かにしていくという関係。
ウ 身体の動きをことばに表し、そのことばに従って身体を動かすことを繰り返していくことで、身体の動きもことばも豊かになっていくという関係。
H 自分の身体の動きを、自分自身のことばで他者が観察して表したことばとを交流することで、身体の動きの正確さが増していくという関係。

問六 本文中に「彼らの写真を自分自身にとつても、く、きりとした手応えを持つものとなる」とありますが、筆者は、見る者がく、きりとした手応えを持つことばは、どうしたことばに考えていますか。 四十五文字以内で説明しなさい。

第三問 中学生のみなさんのクラスでは、親戚の人にインタビューしてきたことについて報告会を行います。次は、報告会のリハーサルでAさんが実際に話した【ズーイチ】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【ズーイチ】

私は、農業を営むBさんのお宅を訪ね、お米や野菜のお話をいろいろと聞くつもりで来ました。今日は、その中から収穫が始まったばかりの、地元の特産野菜、「おちみほうれんそう」についてお話しします。さて、皆さんは「おちみほうれんそう」を見たことがありますか。食べたことはありませんか。「おちみほうれんそう」を言っても食べたことないという人が多いようです。この写真を見てください。これが、「おちみほうれんそう」です。葉の裏面がきざしと織込んだような縞が波打っています。葉は、横に開き、根に近い、深い緑色です。ついついと感じかして、固そうに見えますが、食べてみると、柔らかく、普通のほうれんそうとは一味も二味も違います。「おちみほうれんそう」がどんな形をしているのか、分かりましたか。ちなみに、Bさんから聞いた話の中から、「おちみほうれんそう」について、三つことをお伝えします。①一日は、「おちみほうれんそう」が「寒締め」したほうれんそうの呼び名だということです。この「寒締め」とは、冬の冷気や霜に当ることです。畑ですらりとまっすぐに育った普通のほうれんそうを収穫せず、畑に凍らせたまま、「寒締め」すると、葉は地面に張り付くように広がります。表面が縮んで、「おちみほうれんそう」になるそうです。②一日は、「寒締め」が植物に備った性質を利用した栽培方法だということです。寒いところで育つ植物は、寒さでその体が凍って枯れてしまわないように、体内の水分を減らし糖分などを蓄えるといった性質を持っています。Bさんは、「寒締め」によって普通のほうれんそうの倍以上の糖度になると教えてくれました。インターネットで調べると、「寒締め」は、大根や白菜、じゃこでも行われていることが分かりました。③一日は、「おちみほうれんそう」の人氣が広がっているということです。かつては、商品として出荷されることはほとんどありませんでしたが、夏冬の野菜の評判が上がり、今では、県外のスーパーマーケット

問四 【ズーイチ】の中に、④「普通のほうれんそうの倍以上の糖度になる」とありますが、次はこのことについて、Aさんがリハーサル後に友達からもらったアドバイスで、に入る適切な表現を考えて、三十字以内で答えなさい。

「普通のほうれんそうの倍以上の糖度」という表現では、「おちみほうれんそう」がどれくらい甘いのが分かりにくいので、「おちみほうれんそう」とは比較するために、について図書館の資料やインターネットで調べておくとうよいと思います。

問五 【ズーイチ】の中に、「おちみほうれんそう」は、「旬を迎えます」とありますが、Aさんは、リハーサル後に、「旬を迎えます」を分かりやすく言い換えることにしました。に入る適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

「おちみほうれんそう」は、。

問六 【ズーイチ】の構成について説明したものと、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア はじめに「おちみほうれんそう」について知りたい事柄を聞き手に問い掛く、それに従ってインタビューで聞いた情報を取り上げている。
イ はじめに「おちみほうれんそう」と普通のほうれんそうの違いを際立たせ、インタビューで聞いたBさんの独自の工夫を紹介している。
ウ 「おちみほうれんそう」の特徴を印象付けた上で、インタビューで聞いた情報を整理し、自分で調べたことを付け加えて伝えている。
エ 「おちみほうれんそう」についてBさんにインタビューをした感想を話した上で、重要な語句に絞り、何度も繰り返しながら説明している。

でも売られるようになったとのこと。これからは、「おちみほうれんそう」は、旬を迎えます。皆さんもぜひこの機会に「おちみほうれんそう」を味わってみてください。これで、私のズーイチを終わります。

問一 【ズーイチ】の中に、①「旬」とありますが、これについて説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「聞く」の謙譲語で、Bさんに対する敬意を表している。
イ 「聞く」の丁寧語で、Bさんに対する敬意を表している。
ウ 「聞く」の謙譲語で、報告会の聞き手に対する敬意を表している。
エ 「聞く」の丁寧語で、報告会の聞き手に対する敬意を表している。

問二 【ズーイチ】の中に、②「こちらの写真」とありますが、Aさんが報告会の聞き手に対してこのタイミングで示す写真として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「おちみほうれんそう」を使いたいいろいろな料理の写真。
イ インタビュア当日にBさんが収穫した様々な野菜の写真。
ウ Aさんからの質問にBさんが細く答えている様子を取った写真。
エ 取ったばかりの「おちみほうれんそう」一株全体を取った写真。

問三 【ズーイチ】の中に、③「一日は、「おちみほうれんそう」が「寒締め」したほうれんそうの呼び名だということです」とありますが、Aさんは、このように話した後、次のことをしました。その理由として、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

裏面に「寒締め」と書き、振り仮名をつける。

- ア 「寒締め」についての説明を少しでも受けて単語の意味が分かる。
イ 聞き慣れない専門的な用語の意味の理解を助けられると考えたから。
ウ 実際に行われていようと漢字の意味することに違いがあったから。
エ 科学的な内容を含まないので疑問をもって聞いてほしかったから。

第四問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～④のよう、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分に漢字に改めなさい。

- ① 懐の地へ旅立つ。 満天の星を仰ぐ。
② 郷土の偉人を顕彰する。 何年かに一人の逸材と注目される。
③ 渡り鳥のムレが旅立つ。 日が割れて辺りが暗くなる。
④ 図書館は知識のボウゴだ。 万国ハグラン会が開催された。

問二 次の行事で書かれた漢字を楷书で書いたとき、総画数が最も多いものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 策 イ 用 ウ 茎 エ 脈

問三 次の文の——線部を現代仮名遣いに改めなさい。

ことに目もななき前にも、心のつちは、なほいとせかし。
(「村野博士」による)

問四 次の文は、いくつかの文節に区切れますか。文節の数を答えなさい。

大きな川が緩やかに蛇行しながら流れる。

問五 次の文のにあてはまる副詞として、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

道際の選み員会を考えれば、一時間以上はかかるだろう。

- ア どうか イ おそろく ウ さそ エ もしも

第五問次の【漢文】と、その【書き下し文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【漢文】

学^ハ 貴^リ 以^テ 漸^ラ 日^ニ 進^ム
 天下^ノ 之^レ 極^ハ 遠^シ 固^ニ
 * 有^リ 人^ノ 跡^ヲ 所^レ 不^レ 及^バ 者^一
 然^レ 日^々 力^ヲ 征^ミ 而^{シテ} 不^レ 已^ム
 則^チ 亦^チ 無^キ 所^レ 不^レ 至^ル 也^一
 学^ノ 之^レ 源^ハ 流^ハ 遠^シ 矣^一 苟^{クモ}
 * 下^学 之^レ 功^ハ 日^々 進^ム 不^レ 息^ム
 久^シ 則^チ 可^ク 以^テ 上^ニ 達^ス 也^一

【書き下し文】

学は漸を以て日に進むを貴ぶ。
 天下の極遠は、固に
 人跡の及ばざる所の者有り。
 然れども日力を征めて已まざれば、
 則ち亦た至らざる所無きなり。
 学の源流は遠し。苟くも
 下学の功、日に進みて息まず、
 久しければ自然に以上達すべきなり。

(「眞思録」による)

* をつけた語句の入注

- 漸—— 順厚。
- 有^リ者—— がある。
- 苟^{クモ}—— もし。
- 下^学—— 日常の身の回りにあることから学ぶこと。

問一 【漢文】中に「貴」とありますが、この言葉のここの意味として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を答えなさい。

- ア 禁止している。
- イ 大切にしている。
- ウ 誇りに感じている。
- エ 忘れている。

問二 【書き下し文】を参考にして、【漢文】中の「無^キ所不^レ至^ル也。」に返り点を付けなさい。

問三 【漢文】中に「矣」とありますが、この字は同様じ、訓読する際に読まない字を、【漢文】中から漢字一字で抜き出して答えなさい。

問四 【書き下し文】中に「苟くも下学の功、日に進んで息まず、久しければ則ち以上達すべきなり。」とありますが、次の文は、このことについて説明したものです。□に入る適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

筆者は、日常の身の回りにあることから学ぶことと、□
 ことで、学問の根源、物事の本質を知ることとを重んじている。

問題番号		正	答	配点
第一問	問一		ア	2
	問二	(一)	出来上がっていく	2
		(二)	ウ	2
	問三	(例)	全体演奏の生の迫力に圧倒されたから。(18字)	4
	問四		イ	3
	問五		エ	3
	問六	(例)	楽譜にそって演奏するので精一杯なのは自分だけでないことを確かめ、安心したい気持ち。(41字)	5
問七		ウ	3	
第二問	問一	(一)	ウ	2
		(二)	エ	2
	問二		イ	2
	問三	A	(正解なし)	3
		B	撮影と制作	3
	問四	(例)	ことばによって正確に判断し認識する(17字)	4
	問五		ウ	3
問六	(例)	作品に込められた写真家の意図や思いを、写真を見るだけではっきりと感じ取れるということ。(43字)	5	
第三問	問一		ア	2
	問二		エ	2
	問三		イ	3
	問四	(例)	普通のほうれんそうの糖度や、いろいろな野菜や果物の糖度(27字)	4
	問五	(例)	最もおいしい時期に入ります(13字)	4
	問六		ウ	3
第四問	問一	①	あこが(れ)	16
		②	あお(ぐ)	
		③	けんしょう	
		④	いつざい	
		⑤	群(れ)	
	⑥	暮(れて)		
	⑦	宝庫		
	⑧	博覧		
第五問	問二		ウ	2
	問三		なおいとおかし	2
	問四		五	2
	問五		イ	2
	第五問	問一		イ
問二			無し 所レ 不レ 至 也。	2
問三			而	2
問四		(例)	毎日休まずに、長く続けていく(14字)	4

国語

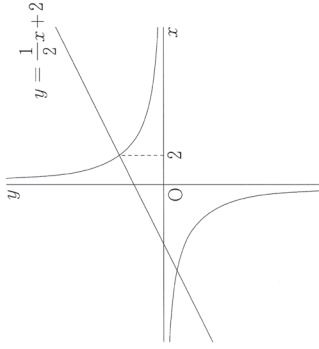
正答率・無答率・得点率・その他

問題番号	正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~121点 b:120~94点 c:93~27点)	
第一問	問一	71.0%	0.0%	71.0%	
	問二	(一)	41.5%	10.5%	42.0%
		(二)	89.5%	0.0%	89.5%
	問三	13.0%		6.5%	32.0%
	問四	86.0%	0.0%	86.0%	
	問五	83.0%	0.0%	83.0%	
	問六	10.5%		8.0%	38.6%
問七	80.5%	0.5%	80.5%		
第二問	問一	(一)	84.5%	0.0%	84.5%
		(二)	63.0%	1.5%	63.0%
	問二	86.5%	0.0%	86.5%	
	問三	A			
		B	46.5%	28.5%	48.2%
	問四	4.0%		14.5%	23.5%
	問五	62.0%	2.5%	62.0%	
問六	1.5%		30.5%	9.8%	
第三問	問一	73.5%	0.0%	73.5%	
	問二	97.5%	0.0%	97.5%	
	問三	85.0%	0.0%	85.0%	
	問四	11.5%		5.5%	40.6%
	問五	29.0%		5.5%	46.5%
	問六	71.5%	3.0%	71.5%	
第四問	問一	①	93.5%	0.5%	93.8%
		②	94.5%	2.5%	94.5%
		③	49.5%	6.5%	49.5%
		④	82.0%	3.0%	82.0%
		⑤	87.0%	6.0%	87.0%
		⑥	88.0%	4.5%	88.0%
		⑦	82.5%	7.0%	82.5%
		⑧	54.0%	14.5%	54.0%
問二	78.5%	1.0%	78.5%		
問三	84.0%	4.5%	85.0%		
問四	54.5%	1.0%	54.5%		
問五	97.5%	1.5%	97.5%		
第五問	問一	68.0%	1.5%	68.0%	
	問二	32.0%	8.5%	32.0%	
	問三	68.5%	5.5%	68.5%	
	問四	8.0%	23.5%	27.4%	
計			62.2%		

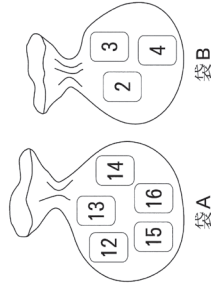
正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合



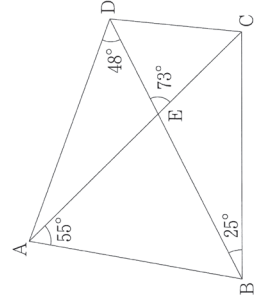
- 7 右の図のように、1次関数 $y = \frac{1}{2}x + 2$ のグラフと、ある反比例のグラフとが、異なる2点で交わっています。その交点の1つの x 座標が2のとき、この反比例のグラフについて、 y を x の式で表しなさい。



- 8 下の図のように、袋Aには12, 13, 14, 15, 16の数字が1つずつ書かれた5枚のカードが入っており、袋Bには2, 3, 4の数字が1つずつ書かれた3枚のカードが入っています。2つの袋とも、それぞれ中のカードをよくかき混ぜておきます。袋Aと袋Bのそれぞれからカードを1枚ずつ取り出すとき、袋Bから取り出したカードに書かれた数が、袋Aから取り出したカードに書かれた数の約数である確率を求めなさい。



- 9 右の図のような四角形ABCDがあり、対角線ACと対角線BDが点Eで交わっています。 $\angle BAC = 55^\circ$, $\angle ADB = 48^\circ$, $\angle CBD = 25^\circ$, $\angle CED = 73^\circ$ のとき、 $\angle ACD$ の大きさを求めなさい。



第一問 次の1~9の問いに答えなさい。

1 $(-2) - (-7)$ を計算しなさい。

2 $\frac{4}{3} + 5 \times \left(-\frac{1}{3}\right)$ を計算しなさい。

3 $a^2 \times 4b \div 2ab$ を計算しなさい。

4 ある数 a は、ある数を3倍して5を加えた数より大きい。この数量の間の関係を不等式で表しなさい。

5 $3x^2y - 6xy^2 + 18xy$ を因数分解しなさい。

6 $(\sqrt{5} - \sqrt{2})^2$ を計算しなさい。

第二問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 良夫さんはある店の特売日に、ペン1本と手帳1冊を買いました。特売日の、ペンの値段は定価の3割引きで、手帳の値段は定価の2割引きです。良夫さんが支払った代金の合計は1600円で、定価で買うよりも440円安く買うことができました。
ペン1本の定価を x 円とすると、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) ペン1本の特売日の値段を、 x を使った式で表しなさい。

(2) ペン1本の特売日の値段は何円ですか。

2 真弓さんの学年において、体育の授業で水泳を行い、クロールで25m泳いだときの記録をとりました。下の表は、このときの、真弓さんを含めた女子60人の記録を度数分布表に整理したものです。

階級(秒)	度数(人)
以上	未満
19.0	20.0
20.0	21.0
21.0	22.0
22.0	23.0
23.0	24.0
24.0	25.0
25.0	26.0
26.0	27.0
27.0	28.0
28.0	29.0
29.0	30.0
計	60

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) この度数分布表で、最頻値(モード)を求めなさい。

(2) 今回の記録の中で、真弓さんよりも速い人が34人います。このとき、この度数分布表で、真弓さんの記録がどの階級に入っているかを、その根拠を示しながら説明しなさい。

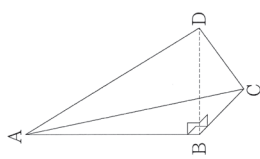
3 図Iは、 $\angle ABC = \angle ABD = \angle CBD = 90^\circ$ 、 $AB = 8$ cmである三角錐です。この三角錐の展開図は、図IIのような正方形になりました。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

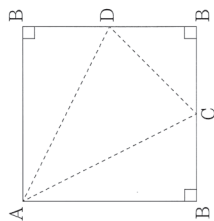
(1) この三角錐の体積を求めなさい。

(2) 図Iにおいて、点Bから面ACDにひいた垂線と面ACDとの交点をHとすると、線分BHの長さを求めなさい。

図I



図II

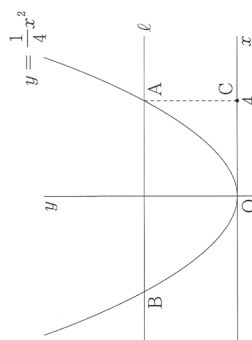


4 右の図のように、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に、 x 座標が4である点Aをとり、点Aを通り x 軸と平行な直線 ℓ と、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフとの交点のうち、A以外の点をBとします。また、 x 軸上に点Aと x 座標が等しい点Cをとります。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 点Bの座標を求めなさい。

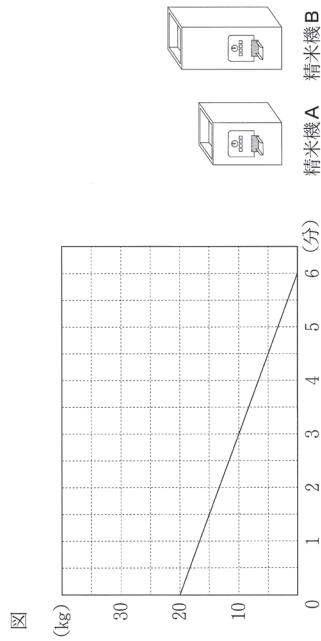
(2) 関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に、 x 座標が t である点Pをとります。 $\triangle ABP$ と $\triangle ACP$ の面積の比が7:2となるとき、 t の値を求めなさい。ただし、 $0 < t < 4$ とします。



第三問 ある店に、玄米を精米する2台の精米機A、Bがあります。精米機Aは6分間で20kgの玄米をすべて精米することができ、精米する速さはつねに一定です。また、精米機Bは4分間で30kgの玄米をすべて精米することができ、精米する速さはつねに一定です。精米機A、Bはそれぞれ、玄米をすべて精米し終えたときにだけ停止します。

ある日、精米機Aには20kg、精米機Bには30kgの玄米を入れ、2台の精米機を同時に始動させました。下の図は、精米機Aの、始動させてから停止するまでの、時間と精米機Aに残っている玄米の量との関係を表したグラフです。

あとの1～4の問いに答えなさい。



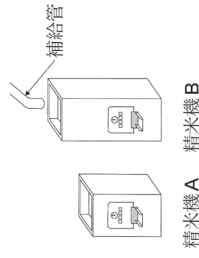
1 精米機を始動させてから4分後の、精米機Aに残っている玄米の量は何kgですか。

2 精米機Bの、始動させてから停止するまでの、時間と精米機Bに残っている玄米の量との関係を表すグラフを、**解答用紙の図**にかき入れなさい。

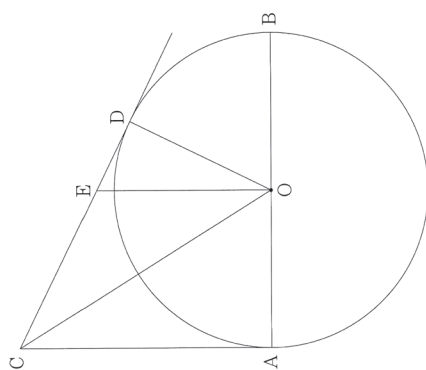
3 精米機を始動させてから4分が経過するまでの間で、精米機Aに残っている玄米の量と精米機Bに残っている玄米の量とが等しくなくなったのは、始動させてから何分何秒後ですか。

4 次の日も、精米機Aには20kg、精米機Bには30kgの玄米を入れ、2台の精米機を同時に始動させました。この日は、精米機を始動させて2分経過した時点から、玄米が流れてくる補給管を使って、ある時間だけ精米機Bに玄米を追加しました。このとき、追加する玄米の量は追加し始めてからの時間に比例し、単位時間あたりに追加する玄米の量は、毎分10kgでした。その結果、精米機を始動させてから精米機Bが停止するまでの時間は、前の日よりちょうど1分長くなりました。

精米機Bに玄米を追加し終えた時点の、精米機Bに残っている玄米の量から精米機Aに残っている玄米の量をひいた差は何kgですか。



第四問 線分ABを直径とする円Oがあります。下の図のように、点Aを通る円Oの接線をひき、その接線上に $OA < AC$ となる点Cをとり、点Cと点Oを結びます。また、点Cから円Oに、接線ACとは異なる接線をひき、円Oとの接点をDとします。さらに、点Oを通り線分ABに垂直に交わる直線と線分CDとの交点をEとします。



次の1, 2の問いに答えなさい。

1 $\triangle AOC \equiv \triangle DOC$ であることを証明しなさい。

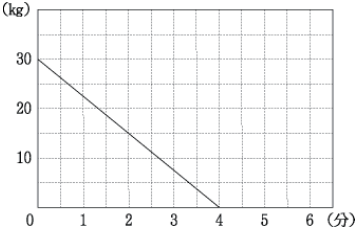
2 線分BCと線分OD, 線分OEとの交点をそれぞれ点F, 点Gとします。さらに、点Aと点Dを結びます。

$AB = 4 \text{ cm}$, $AC = 3 \text{ cm}$ のとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(1) 線分OCの長さを求めなさい。

(2) 線分ADの長さを求めなさい。

(3) 四角形EGFDの面積を求めなさい。

問題番号	正 答	配 点		
第 一 問	1	5	3	
	2	$-\frac{1}{3}$	3	
	3	$2a$	4	
	4	(例) $a > 3b + 5$	4	
	5	$3xy(x - 2y + 6)$	4	
	6	$7 - 2\sqrt{10}$	4	
	7	$y = \frac{6}{x}$	4	
	8	$\frac{7}{15}$	4	
	9	52	[度] 4	
第 二 問	1	(1)	$\frac{7}{10}x$	[円] 3
		(2)	224	[円] 4
	2	(1)	24.5	[秒] 3
		(2)	(例) 真弓さんは、1番速い人から数えて35人目であり、一方、19.0秒以上23.0秒未満の人数は28人で、19.0秒以上24.0秒未満の人数は37人である。したがって、真弓さんの記録は23.0秒以上24.0秒未満の階級に入っている。	5
	3	(1)	$\frac{64}{3}$	[cm ³] 4
		(2)	$\frac{8}{3}$	[cm] 4
	4	(1)	(-4, 4)	3
		(2)	3	4
第 三 問	1	$\frac{20}{3}$	[kg] 3	
	2		4	
	3	2	[分] 24 [秒後] 4	
	4	$\frac{145}{24}$	[kg] 5	
第 四 問	1	(例) $\triangle AOC$ と $\triangle DOC$ において OC は共通 … ① 円 O の半径だから $OA = OD$ … ② 円の接線は、接点を通る半径に垂直だから $\angle OAC = \angle ODC = 90^\circ$ … ③ ①, ②, ③より、直角三角形で、斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいから $\triangle AOC \cong \triangle DOC$	6	
	2	(1)	$\sqrt{13}$	[cm] 4
		(2)	$\frac{12\sqrt{13}}{13}$	[cm] 5
(3)		$\frac{10}{21}$	[cm ²] 5	

数学

正答率・無答率・得点率・その他

問題	正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~121点 b:120~94点 c:93~27点)		
第一問	1	96.5%	0.0%	96.5%	a:100.0% b:98.3% c:93.0%	
	2	91.5%	0.5%	91.5%	a:96.4% b:98.3% c:83.7%	
	3	92.0%	0.0%	92.4%	a:100.0% b:99.6% c:82.6%	
	4	83.0%	2.0%	83.8%	a:98.2% b:92.2% c:68.6%	
	5	70.0%	9.0%	71.1%	a:82.1% b:70.7% c:64.2%	
	6	59.5%	0.0%	59.9%	a:87.5% b:68.5% c:36.1%	
	7	56.5%	3.0%	56.5%	a:80.4% b:75.9% c:27.9%	
	8	72.0%	2.5%	72.0%	a:92.9% b:81.0% c:52.3%	
	9	46.5%	6.5%	46.5%	a:67.9% b:50.0% c:30.2%	
第二問	1	(1)	47.0%	12.0%	49.7%	a:92.3% b:54.6% c:18.6%
		(2)	27.5%	33.5%	27.5%	a:69.6% b:22.4% c:3.5%
	2	(1)	72.0%	3.0%	74.0%	a:94.6% b:84.5% c:53.5%
		(2)	15.0%	5.5%	36.2%	a:41.4% b:42.1% c:28.8%
	3	(1)	32.5%	19.0%	32.5%	a:67.9% b:31.0% c:10.5%
		(2)	4.5%	40.0%	4.5%	a:14.3% b:1.7% c:0.0%
	4	(1)	76.5%	5.0%	76.7%	a:98.8% b:87.9% c:54.7%
		(2)	16.0%	47.0%	16.0%	a:32.1% b:10.3% c:9.3%
第三問	1	36.0%	5.5%	36.0%	a:83.9% b:41.4% c:1.2%	
	2	94.0%	3.5%	94.0%	a:98.2% b:98.3% c:88.4%	
	3	29.0%	19.5%	29.0%	a:73.2% b:22.4% c:4.7%	
	4	0.5%	55.0%	0.5%	a:1.8% b:0.0% c:0.0%	
第四問	1	25.5%	9.0%	46.1%	a:74.7% b:53.7% c:22.3%	
	2	(1)	69.5%	5.0%	69.5%	a:92.9% b:82.8% c:45.4%
		(2)	2.5%	27.0%	2.5%	a:5.4% b:3.5% c:0.0%
(3)	0.0%	75.0%	0.0%	a:0.0% b:0.0% c:0.0%		
計				47.7%	a:66.2% b:51.7% c:32.9%	

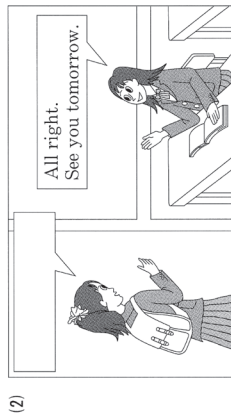
正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

第一問 次の1~4の問いに答えなさい。

1 次の(1)、(2)の絵は、二人が会話をしている場面を表しています。二人の会話が成立するように、各場面の空欄に入る最も適切なものを、それぞれ右のA~Eから1つ選び、記号で答えなさい。なお、それぞれの絵において、向かって左側の人物から会話が始まるものとします。



- ア I'm watching TV.
- イ I'm washing the dishes.
- ウ I'm playing the piano.
- エ I'm doing my homework.



- ア Whose book is that?
- イ I have to go home now.
- ウ I'm going to meet you today.
- エ Would you like to come with me now?

2 次の(1)、(2)は二人の会話文です。それぞれの下線部A~Eのうちで、一番強く発音される語として最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

(1) *Mike:* Where is my bag? I think I put it on the table.
Mother: No, it's under the table.
 ア イ ウ エ

(2) *Kenta:* David, let's watch a baseball game on TV at my house.
David: Well, how about watching it at my house?
 ア イ ウ エ

3 次の(1)、(2)の英文で、二人の会話が自然につながるように、に入る最も適切なものを、それぞれあとのA~Eから1つ選び、記号で答えなさい。

(1) *Tom:* Sakura, what's the matter?
Sakura: I'm looking for my cat, but I can't find her.
Tom: That's too bad. I'll look for her with you.
Sakura: She is white with blue eyes.

- ア What does she look like?
 - イ What color do you like?
 - ウ I hope so.
 - エ I'm looking for my bird.
- (2) *Nancy:* My mother made pizza and cake for us.
Emi: Wow. They look great.
Nancy: She likes cooking.
Emi: Thank you. I'll have pizza first.

- ア You finished having them.
- イ I'll tell you about the restaurant.
- ウ Here's your change.
- エ Help yourself.

4 次の英文で、二人の会話が自然につながるように、① ~ ③のそれぞれに入る最も適切なものを、あとのA~Eから1つずつ選び、記号で答えなさい。

Jane: Hi, Kenji. Do you know the small shop in front of the station?
Kenji: No. ①
Jane: It's a coffee shop. I listened to *rakugo* with my host mother there.
Kenji: *Rakugo*? In the coffee shop?
Jane: Yes, in the coffee shop. My host mother took me to the shop. It was an old restaurant before. A young man bought it and changed it into a coffee shop. He wants many people to come to his shop. ② *Rakugo* is one of them.
Kenji: I see. ③
Jane: Yes, easy Japanese was used in the story and my host mother helped me. It was interesting. A lot of people enjoyed good coffee and *rakugo*.
Kenji: That's nice. I want to go there.

- ア So he sometimes holds interesting events there.
- イ Did he open a new restaurant?
- ウ There are no people who want to hold such events.
- エ Did you understand the *rakugo*?
- オ What kind of shop is it?

第二問 次の1, 2の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(3)の二人の会話が成立するように、()に入る最も適切なものを、それぞれあとのア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

(1) Cathy: I went to the city museum. It was nice. Have you ever been there?

Ichiro: Yes, I've been there ().

- ア two イ twice ウ three エ third

(2) Jim: Tomorrow, we will meet at school at 8 a.m. for our school trip, right?

Teacher: Yes. You must not () late.

- ア be イ are ウ were エ been

(3) Man: Excuse me. Please tell me () I am on this map.

Misabi: Sure. You're here on Midoriyama Street.

- ア why イ when ウ what エ where

2 次の(1)~(3)の二人の会話が成立するように、()に入る適切な英語を、それぞれ1語書きなさい。ただし、答えはすべて()内に示された文字で書き始めなさい。

(1) Atsushi: Did you go to any (f) during the summer vacation?

Kelly: Yes. I went to Aomori Nebuta and Sendai Tanabata.

(2) Kate: I'll go back to Australia tomorrow. I had a good time with you, Yuko.

Yuko: Me, too. Here's our picture. I hope you'll always (r) your stay in Japan.

(3) Judy: Can I (i) my friends for dinner this Sunday?

Mother: Of course.

第三問 次の英文は、高校生の由美(Yumi)が、英語の授業で、中学生のときのある出来事について書いたものです。この英文を読んで、あとの1~6の問いに答えなさい。

Now, there are many ways of communicating. For example, we can talk face to face, on the phone, or on the Internet. We can also send our messages by e-mail. Using e-mail is (①) convenient, so I often send e-mails to my friends. However, I have a rule about communication when I have to say important things. I made it when I was a junior high school student.

Saki and I have been good friends since elementary school. In junior high school, we were members of the same volleyball team. Saki was the best player on our team. One day, we practiced hard for a big game. I tried very hard, but I couldn't do very well. Then Saki said to me, "Be more careful! Don't make the same mistakes." I got angry when I heard her words. I thought she couldn't understand me because she played volleyball better than me. After that, I didn't say anything to her during the club and I didn't go home with her that day. When I came home, I thought about our club. Perhaps Saki was very serious and tried to

encourage me. When I thought that, I felt bad. How did Saki feel when I stopped talking and went home alone? I (②) about our friendship and our club. So I sent Saki an e-mail saying "I'm sorry about today." One hour later, I got Saki's message saying "It's OK." I was relieved to (③) it. But soon I got nervous. ④ I couldn't understand her true feelings (to / the / she / from / wrote / message) me.

The next day was Saturday. We had volleyball club in the morning. When I was preparing to go to the club, Saki came to my house. She said to me, "I'm sorry about yesterday. I wanted to encourage you. I know you practiced very hard." Then she smiled and said cheerfully, "Let's go to the club. We will win the game." I was relieved to see her face and listen to her voice. Without a person's face, voice, and gestures, it's difficult to understand how the person feels. I realized ⑤ that.

We have many ways of communicating and each way has its good points. After the experience, I decided to do one thing and now I always try to do it. When I have to say something important, I talk face to face. This is my rule.

<注> communicating ← communicate コミュニケーションをとる face to face 顔を合わせて
 convenient 便利な rule ルール make the same mistake(s) 同じミスをする
 angry 怒った word(s) 言葉 serious 真剣な encourage ~ ~を励ます
 sent ← send relieved ほっとした feeling(s) 気持ち
 preparing ← prepare 準備する smile(d) ほほえむ cheerfully 元氣よく
 gesture(s) ジェスチャー realize(d) ~ ~が分かる

- 1 本文中の(①)に入る最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア carefully イ especially ウ early エ easily
- 2 本文中の(②), (③)に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア (②) studied (③) lose
 イ (②) read (③) choose
 ウ (②) worried (③) receive
 エ (②) knew (③) forget

3 下線部④の()内の語を正しく並べかえ、英文を完成させなさい。

4 下線部⑤が示す具体的な内容を、本文中から探して日本語で書きなさい。

5 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。
 What is Yumi's rule after the experience?

6 本文の内容に合うものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア Yumi met Saki for the first time when they were in junior high school.
 イ Yumi was a member of the volleyball team and she couldn't play volleyball as well as Saki.
 ウ After the club on Friday, Yumi and Saki talked about their club on their way home.
 エ On Saturday morning, Yumi went to Saki's house and said to Saki, "I'm sorry."

第四問 次の英文は、高校生の大貴 (Daiki) と留学生のメアリー (Mary) との会話です。この英文を読んで、あとの1～7の問いに答えなさい。

Mary: Hi, Daiki. I heard you'll join an English speech contest next month. Is it true?
 Daiki: Hi, Mary. Yes, it's true. So I'm writing the script.
 Mary: What are you going to talk about in the contest?
 Daiki: I'm going to talk about my grandfather's life and the trees around his house.
 Mary: Mary, look at this picture.
 Oh, I can see a house (①) by a lot of tall trees in the rice fields.
 Daiki: Yes, it's my grandfather's house. My grandfather is a farmer. My family visits him every month. In his town, farmers have had a lot of trees around their houses for generations. So in the contest, I want people to know having trees around houses is very useful.
 Mary: Useful? Please tell me more.
 Daiki: OK. Look at another picture. I took this in front of my grandfather's house. There are many kinds of trees around his house. He has a lot of tall trees called *sugi* and *hinoki* in Japanese on the north and west sides of his house. Fruit trees are planted on the east side. To get a lot of sunlight in the house, he has shorter trees on the south side. ② These trees (make / designed / people's / are / lives / to) better.
 Mary: I see. That's very interesting.
 Daiki: Yes. In my grandfather's town, there is a strong northwest wind. To protect his house from it, a lot of tall trees are planted on the north and west sides. Those trees have green leaves all year round.
 Mary: Wow. The trees work very well for your grandfather.
 Daiki: Yes. I have another example. The fruit trees can give us food. My grandfather has some persimmon trees, so he can get persimmons in fall. He gives ③ them to my family every year. He also gives us dried persimmons in winter. My family likes them very much.
 Mary: That sounds nice.
 Daiki: Yes. I heard people planted fruit trees for winter and for disasters in the Edo period. I see. They knew the importance of having trees around their houses.
 Mary: Exactly. Having trees has ④ one more good point. Farmers in the town can use their trees for wood to build their houses. My grandfather's house was built 100 years ago. I heard the trees around the house were used for wood then. My grandfather always says, "I'm going to use my trees when I repair this house next time. Living in this house is very nice."
 Mary: That's great. Having trees is very useful, but I think it's necessary to take care of the trees. Who takes care of your grandfather's trees?
 Daiki: ⑤
 Mary: He says "Thank you." I'm proud of his house and the trees. So I want people to know about them.
 Mary: I'm sure everyone will be interested in your speech. Do your best, Daiki.

<注> script 原稿 rice field(s) 田んぼ farmer 農家の人
 for generations 何世代にもわたって plant(ed)～ ～を植える northwest 北西の
 leaves ← leaf 葉 persimmon 柿 dried～ ← dry～ ～を乾燥させる
 sound(s)～ ～に聞こえる disaster(s) 災害 exactly そのとおり wood 材木
 repair～ ～を修理する proud of～ ～を誇りに思っ

- 1 本文中の (①) に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア surround イ surrounding ウ surrounded エ to surround
- 2 下線部②の () 内の語を正しく並べかえ、英文を完成させなさい。
- 3 下線部③が示す内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア the fruit trees イ persimmons ウ green leaves エ houses
- 4 下線部④が示す具体的な内容を、本文中から探して日本語で書きなさい。
- 5 本文中の ⑤ の中に、次の a～c の3つの文を入れるとき、それらを並べる順番として最も適切なものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

a So my father and I started to help him.
 b But my grandfather did that alone before and it looked hard.
 c My grandfather, my father, and I take care of them.

- ア a - b - c イ a - c - b ウ b - a - c
 エ b - c - a オ c - a - b カ c - b - a
- 6 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。
 Why are a lot of tall trees planted on the north and west sides of the grandfather's house?
 7 本文の内容に合うものを、次のア～オから2つ選び、記号で答えなさい。
 ア Daiki is writing a script about his grandfather's rice fields for a speech contest.
 イ Daiki's grandfather is a farmer and he lives with Daiki's family now.
 ウ Daiki hopes people will learn that having trees around houses is useful.
 エ Daiki shows Mary pictures of his grandfather's house and his trees.
 オ Daiki's grandfather thinks his house is too old to live in, so he wants to buy a new one.

第五問 中学生の亜矢子 (Ayako) の家に、町の国際交流プログラムでアメリカ人のサリー (Sally) がホームステイをしています。下の会話は、亜矢子の通う学校で授業体験をするサリーに、亜矢子が、英語で書いた時間割を見せながら、その内容を説明しているものです。あとの1～3の問いに答えなさい。

★ Class Timetable for Tomorrow	
8:35 ~ 8:45	Homeroom
8:50 ~ 9:40	Japanese
9:50 ~ 10:40	P.E.
10:50 ~ 11:40	Science
11:50 ~ 12:40	Music
12:40 ~ 13:15	Lunchtime
13:40 ~ 14:30	English
14:40 ~ 15:30	Math
15:30 ~ 15:50	Cleaning Time
15:50 ~ 16:00	Homeroom

Sally: Ayako, I'll go to your school tomorrow. I'm so excited.
 Ayako: Me, too. My classmates are looking forward to seeing you. This is our class timetable.
 Sally: Oh, thank you.
 Ayako: You'll join my music and English classes. We will have lunchtime (①) those classes. In the music class, we will sing a Japanese song and an English song. In the English class, we will play some English games. The English class is very fun, so many students like it.
 Sally: That's nice. Ayako, what is ② ?
 Ayako: I like science because studying about stars and space is very interesting.
 Sally: I see. I like science, too.
 Ayako: By the way, you can eat school lunch tomorrow. ③ your lunch in your school?
 Sally: I eat my lunch in the school cafeteria.
 Ayako: I see. OK. I'll tell you about our school lunch. ④
 So I like school lunch very much.
 Sally: Wow. Your school lunch is very nice. I'm really looking forward to going to your school.

<注> class timetable 時間割 homeroom (朝や帰りの) 会 P.E. 体育
 lunchtime 昼食時間 cleaning time 掃除時間
 looking forward to ~ ← look forward to ~ ~を楽しみにする by the way ところで
 cafeteria カフェテリア school lunch 給食

- 本文中の (①) に入る適切な英語を1語書きなさい。
- 本文中の ② には適切な2語以上の英語を、③ には適切な3語以上の英語を書きなさい。
- 本文中の ④ に、二人の会話が成立するように、亜矢子になったつもりで給食について3文以上の英語を書きなさい。

問題番号		正	答	配点
第一問	1	(1)	エ	2
		(2)	イ	2
	2	(1)	イ	2
		(2)	ウ	2
	3	(1)	ア	2
		(2)	エ	2
	4	①	オ	2
		②	ア	2
		③	エ	2
第二問	1	(1)	イ	2
		(2)	ア	2
		(3)	エ	2
	2	(1)	(例) festivals	3
		(2)	(例) remember	3
		(3)	(例) invite	3
第三問	1	イ	3	
	2	ウ	3	
	3	from the message she wrote to	4	
	4	(例) 顔や声やジェスチャーがないと、その人がどのように感じているのか理解するのが難しいということ。	4	
	5	(例) It is to talk face to face when she has to say something important.	4	
	6	イ	3	
第四問	1	ウ	3	
	2	are designed to make people's lives	4	
	3	イ	3	
	4	(例) その町の農家の人々が、自分たちの家を建てるための材木用に、自分たちの木々を使うことができること。	4	
	5	カ	3	
	6	(例) Because they protect his house from a strong northwest wind.	4	
	7	ウ	エ	6
第五問	1	between	3	
	2	②	(例) your favorite subject	4
		③	(例) Where do you eat	4
	3	(例) We eat our school lunch in the classroom. We can eat delicious food such as curry. It is nice to have school lunch with my classmates.	8	

英語

正答率・無答率・得点率・その他

問題	正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~121点 b:120~94点 c:93~27点)
第一問	(1)	100.0%	0.0%	100.0%
	(2)	71.5%	0.0%	71.5%
	(1)	60.5%	0.0%	60.5%
	(2)	42.5%	0.0%	42.5%
	(1)	76.5%	0.0%	76.5%
	(2)	47.0%	0.0%	47.0%
	①	87.0%	0.0%	87.0%
	②	80.5%	0.0%	80.5%
	③	88.0%	0.0%	88.0%
	第二問	(1)	76.5%	0.0%
(2)		69.0%	0.0%	69.0%
(3)		91.0%	0.0%	91.0%
(1)		17.5%	4.5%	30.5%
(2)		36.5%	22.0%	37.2%
(3)		24.5%	22.5%	25.2%
第三問	1	27.5%	0.0%	27.5%
	2	58.5%	0.5%	58.5%
	3	11.0%	1.5%	11.8%
	4	31.0%	16.0%	43.1%
	5	12.0%	17.0%	29.0%
	6	55.5%	3.0%	55.5%
第四問	1	37.5%	0.0%	37.5%
	2	15.5%	2.0%	15.9%
	3	81.5%	0.5%	81.5%
	4	21.1%	20.1%	36.2%
	5	69.0%	1.0%	69.0%
	6	10.5%	24.5%	18.6%
	7	50.5%	2.0%	70.3%
第五問	1	19.5%	8.0%	19.5%
	②	14.0%	10.5%	24.3%
	③	21.5%	19.5%	30.9%
	3	3.5%	17.0%	37.8%
計			46.7%	

1 出題のねらいと内容

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の3領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、基礎的・基本的な事項を踏まえ、国語を適切に表現し正確に理解する力及び応用力をみることをねらいとした。

第一問では、吹奏楽部に入部した3人の高校1年生の交流を描いた文章を素材とし、叙述に即して、登場人物の様子や心情などを豊かに読み取り、適切に表現する力をみようとした。

第二問では、写真とことばとの関係について述べた文章を素材とし、叙述に即して、書き手のものの見方や考え方を的確に捉え、適切に表現する力をみようとした。

した。

第三問では、クラスでの報告会のリハーサルを素材とし、言語についての知識を活用する力、目的や相手に応じて説明の仕方を工夫し適切に表現する力をみようとした。

第四問では、基礎的な漢字を読む力や書く力をみようとした。また、行書の特徴、歴史的仮名遣い、文の構造及び副詞についての知識・理解をみようとした。

第五問では、「慎思録」を素材とし、古典の基礎的な事項の知識・理解を基に、内容を把握する力及び古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞文学的な文章の読解

問二（一） 比喩を的確に捉えて読み取る力に課題

比喩表現が示している内容を捉える問題。何をたとえたのか、本文中で説明している箇所はどこかを的確に押さえ、内容の理解につなげる指導が必要である。

問三 心情を表す表現に注意して読むことに課題

登場人物の心情を説明する問題。傍線部の表現の意味を十分に捉えないまま、指定字数に合う表現を抜き出す解答が多かった。語彙力を高めて言語感覚を豊かにし、内容を的確に捉えられるようにしたい。

問六 読み取ったことを適切に表現することに課題

登場人物の心情を読み取り、説明する問題。得点率は38.6%と低い。端的な疑問形を三つ重ねた表現から、登場人物の気持ちを押し量り、説明することが十分にできていなかった。登場人物の描写や言動を捉え、表現の工夫に注意して読み、読み取ったことを整理し、何をどのように書くかを考えて表現する力を養う指導が求められる。

＜第二問＞説明的な文章の読解

問三・四 構成や細部の表現を読み取ることに課題

本文の表現を文脈に即して説明する問題。問三Bは違いを押さえて具体的に述べること、問四は「共通性」を述べている部分を押さえ、指定字数内でまとめることが求められた。得点率は問三B 48.2%、問四 23.5%と低い。形式段落の関係を捉え、文章の構成を押さえて内容を理解していく指導が求められる。問三Aについては、問題の表現が不完全であったため、受験生全員を正解とした。

問六 展開を踏まえて読み取ることに課題

文章の展開を踏まえて読み、適切に表現する問題。無答率が高く、得点率は9.8%である。「見る者にとって」「手応えを持つものとなる」とはどのようなことか、「ことば化される」のは何についてなのかの的確に読み取れていない。文章の展開を捉え、文

章全体との関係から内容を的確に読み取る力の育成が求められる。

＜第三問＞話すこと・聞くことへの理解

問四 目的に応じた材料を集めることに課題

必要な情報を把握し、適切に表現する問題。得点率は40.6%で、分かりやすく伝えるために必要な材料を考えて表現する解答が少なかった。目的に応じた材料は何かを考え、適切に判断して集める学習活動の充実が望まれる。

問五 状況に応じて表現するための語彙力に課題

相手に応じて語句を分かりやすく言い換える問題。「句」をそのまま用いて解答するものが多く、表現を変えて説明することができていない。状況に応じて適切に表現できるようにするために、様々な分野の語句や表現に触れさせ、言語感覚を豊かにし、言い換えたり表現を工夫したりする学習の充実が求められる。

＜第四問＞言語事項の理解

問一 漢字の知識・理解に課題

読み書き共に概ね正答率が高いが、③「顕彰」の読みと⑧「博覧」の書きの正答率が低いことから、既習の漢字の知識が十分身に付いていないこと、語句自体を知らないことがうかがわれる。語彙力の向上とともに、漢字の知識の定着を図る指導が必要である。

＜第五問＞漢文の知識・理解

問四 古典に表れる考え方を捉えることに課題

本文全体の内容から、筆者の考えを捉える問題。無答率は前年より6.5%下がったが、得点率は27.4%で、書き下し文中の「久しければ」を十分に捉えきれていない解答が多かった。表現を丁寧に押さえ読み進め、古典に表れたものの見方や考え方に触れさせたい。

1 出題のねらいと内容

「数と式」, 「図形」, 「関数」及び「資料の活用」の4領域について, 基礎的な概念や原理・法則, 数学的な表現や処理の仕方, 事象を数理的に考察し表現する力及びそれらを活用する力をみることをねらいとした。

第一問では, 数と式についての基礎的な知識と計算力, 具体的な事象の中から反比例の比例定数を求める力, 起こり得る場合を順序よく整理し処理する力及び円周角の定理の逆を活用する力をみようとした。

第二問では, 条件から連立方程式を立式し処理する力, 度数分布表から必要な情報を読み取り, 記録が入る階級についての根拠を説明する力, 与えられた空間図形について視点を変えながら観察し論理的に考察する力及び関数 $y = ax^2$ のグラフの対称性を理解し,

文字を用いて二つの図形の面積の関係を式に表現し処理する力をみようとした。

第三問では, 2台の精米機を題材とし, 関数的な見方や考え方を活用して, 伴って変わる二つの数量関係を式やグラフに表現する力及び複数の条件を組み合わせ論理的に考察し適切に処理する力をみようとした。

第四問では, 二つの直角三角形が合同であることを論理的に考察し適切に表現する力, 三平方の定理を活用して線分の長さを求める力, 円や円周角に関する基礎的な知識を活用して相似な二つの三角形を見だし, 相似比を用いて線分の長さを求める力及び三角形の合同や平行線の比など複数の図形の性質を組み合わせ、論理的に問題を解決する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問> 基礎的な計算, 基礎事項についての問題

乗法公式を用いて根号を含む式を計算する力, 関数の式から点の座標を求め, 問題を解決する力に課題

- 6 根号を含む式を計算する際に, 乗法公式を正しく活用しなかったと推測される誤答が目立った。乗法公式を正確に理解した上で, 根号を含む式を効率よく計算できるような指導の工夫が望まれる。
- 7 問題文中に現れる数字から二つの関数のグラフの交点の1つの座標が (2, 2) であると考えて求めたと思われる誤答が最も多く誤答者の約3割を占めた。与えられた関数の式から点の座標を確実に求め, それを問題の解決に適用する活動が必要である。

<第二問> 4領域の基礎事項についての問題

資料から読み取れる情報を的確に表現する力, 展開図から立体の形状を判断する力に課題

- 2 (2) 「真弓さんは最も速い人から数えて35人目」という点にしか触れていない解答が全体の24.5%に上った。「19.0秒以上24.0秒未満の人数が37人」までの言及にとどまり, 真弓さんの記録が23.0秒未満ではないことを説明しきれていない解答も目立った。資料から読み取れる情報を, 文章で的確に表現する活動を積極的に取り入れることが大切である。
- 3 (1)については, 正答率が32.5%と低く, 三角錐の体積の公式の間違いや, 底面の三角形の面積の間違いによる誤答が目立った。(2)は, 無答率が40.0%と高く, 「点Bから面ACDにひいた垂線」が三角錐のどの部分を表すのか読み取れない受験生が多かったと考えられる。展開図から立体の形状を正しく捉えることと, 前問で求めた三角錐の体積を活用しながら, 一つの図形を複数の視点から考えることで問題を解決する習慣を, 学習活動の中で身に付けさせることが求められる。

<第三問> 一次関数の活用に関する問題

条件から関数の式を立て, 問題を解決する力に課題

- 1 得点率で見ると, a層が83.9%であるのに対し, b層が41.4%, c層が1.2%と低く, 大きな差が出た。問題文にある数値から安易に比例式を立てて求めた誤答が目立った。また, グラフからおおよその見当を付けて7kgとする誤答も多く見られた。
- 2 直線の交点を考える際に, 直線の式を用いず, 図から2分30秒とする誤答が多く見られた。条件を正確に式で表現し, 処理する力が不足していると考えられる。一次関数で表される事象の変化を, グラフと式の両方で表すことができるように, 具体的な事象や場面との関わりの中で関数を学習させていく指導の工夫が望まれる。

<第四問> 図形の総合力についての問題

図形を論理的に考察し表現する力に課題

- 1 仮定として示されていない事柄を用いた解答が多く見られた。仮定から得られる事柄を整理しつつ, 筋道を立てて証明を構成する能力の育成が望まれる。
- 2 (2)は△ACDが正三角形であると思い込んだり, △ABDにおいて三辺の長さの比が $1:2:\sqrt{3}$ であると誤解したりしたことによる解答が目立った。安易に図形の形状を推測せず, 相似な三角形を見だしながら推論し, 順序立てて長さを計算することが求められる。(3)は無答率が極めて高かった。適切な補助線を引き, 与えられた条件を整理しながら問題を解決することが求められる。補助線等を活用して図形を多面的に捉える習慣を定着させ, 平行線の性質や相似比, 三平方の定理など複数の性質を活用しながら粘り強く考察する力を養いたい。

1 出題のねらいと内容

「読むこと」、「書くこと」の2領域を中心に「聞くこと」、「話すこと」の領域に触れながら、英語を理解し英語で表現する力及びコミュニケーション能力をみることをねらいとした。

第一問では、絵を見て、短い会話の内容を理解する力、質問に対して適切に回答する力及び会話の流れを読み取り、適切に回答するコミュニケーション能力をみようとした。

第二問では、短い会話を通して、基本的な文法・語法に関する知識・理解と語彙力をみようとした。

第三問では、顔を合わせて話すことの大切さに気付いた高校生の英文を素材とし、ある程度の長さの英文から、大切な部分を的確に捉え、全体的な内容を読み

取る力をみようとした。

第四問では、屋敷林についてのスピーチを準備している高校生が、留学生にその内容を説明するという会話文を素材とし、話がどのように展開しているのかを理解する力、英文の流れに沿ってまとまった英文を構成する力をみようとした。

第五問では、時間割の内容に関する、中学生と留学生の会話を素材とし、基本的な英文を構成する力及び自分の考えや気持ちなどを簡潔にまとめ、読み手に正しく伝わるように適切な英語で表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞基礎的・基本的なコミュニケーション能力をみる問題

英語における基本的な音声の特徴を捉えること、会話で用いる表現を適切に理解することに課題

2 (2) 誤答の45%がイwatchingを選択していた。質問に対する回答においては、重要な箇所を強く発音するという音声の特徴を、言語活動を通して理解させる指導が求められる。

3 (2) 正答のHelp yourselfの意味の理解が不十分であった。会話で用いられる定型表現を確実に定着させるために、より多くの言語活動を授業において展開することが求められる。

＜第二問＞基本的な言語の知識・理解をみる問題

正しい発音と綴りを関連付けること、文脈を理解して適切に表現することに課題

2 会話の内容を理解した上で、空欄に入る単語を記述する問題である。(1) festival(s)については、単語を導き出すことはできているが、誤答の40%が綴りの誤りだった。(3) inviteは、文脈から導き出すことができず無答率も22.5%と高い。発音と綴りを関連付ける指導を大切にするとともに、文脈に応じた語彙選択が適切にできるよう、語彙知識を豊かにする指導が求められる。

＜第三問＞ある程度の長さを持つ英文から、内容を的確に読み取る力をみる問題

指示内容に沿って情報を的確に表現する力に課題

1 誤答の70.3%がエasilyを選択した。語彙知識が不足していることが誤答の原因と考えられる。副詞を活用しながら豊かな表現ができるように言語活動を工夫する必要がある。

3 全問題中で最も得点率が低く(得点率11.8%)、a層でも得点率が36.6%と低かった。関係詞節を見抜くことができても、前置詞fromとtoの機能の理解が浅いため、正解を導き出すことができなかつた。

関係詞節や前置詞を用いた表現に関わる言語活動を重ね、より知識を定着させる指導が求められる。

＜第四問＞話の展開を理解する力、英文の流れに沿ってまとまった英語を構成する力をみる問題

内容を的確に読み取ることに課題

1 誤答の43%が現在分詞を選択しており、過去分詞と現在分詞の使い分けに課題がある。言語活動を通して文法事項を定着させることが求められる。

4 無答率が20.1%と高い。該当部分にあるtheirが何を表すのかを記述できていない誤答が多く見られた。c層においては11.9%の得点率であり、説明箇所を正確に読み取る力に差が見られる。指示語が何を表すかを考えながら読む意識付けが必要である。

6 全問題中で無答率が24.5%と最も高かった。誤答のほとんどが本文中から該当箇所を抜き出すだけで、文として答えを作ることができていない。内容を整理しながら読解する力を育成するとともに、英問英答では適切な文の形で答えられる指導が必要である。

＜第五問＞基本的な英文を構成し、自分の考えを適切な英語で表現する力をみる問題

自分の考えを論理的に伝える文章作りに課題

2 ② 文脈に沿って適切な表現を記述する問題であったが、whatを用いた疑問文がうまく作れず、24.3%の得点率であった。a層においても正確な記述ができず49.6%の得点率であった。身近な表現を定着させながら、文字として書くことで伝える力を育むことが求められる。

3 身近な給食の良さを自由に表現する問題で、意欲的に解答に取り組んではいたが、得点率は37.8%でそれほど高くはなかった。「作られる(is made)」「おいしい(delicious)」のような表現の表記ミスが目立っていた。様々な話題で自分の考えを表現する活動を繰り返し、論理的に、分かりやすく伝える力をさらに養成することが望まれる。

後 期

I 受験状況

表1に後期選抜における今年度及び前年度の学力検査の全教科受験者数を示す。

表1 年度別学力検査受験者数

年度	全日制	定時制	計
平成30年	11,040	242	11,282
平成29年	11,751	267	12,018

II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、思考力、判断力、表現力及び知識・理解等を総合的にみることをねらいとした。

また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な力を的確に捉えることができるように工夫した。

III 学力検査の結果（全日制受験者）

1 総 点

全教科受験者の総点について、表2に度数分布表を、図1に相対度数分布図を示す。

表2 総点の度数分布表

得点区分	平成30年度		平成29年度
	人数	割合(%)	割合(%)
0～100	241	2.2	2.7
101～150	793	7.2	7.5
151～200	1,303	11.8	11.9
201～250	1,780	16.1	14.5
251～300	2,098	19.0	16.3
301～350	2,102	19.1	17.7
351～400	1,671	15.1	17.7
401～450	960	8.7	11.0
451～500	92	0.8	0.7
計	11,040	100.0	100.0

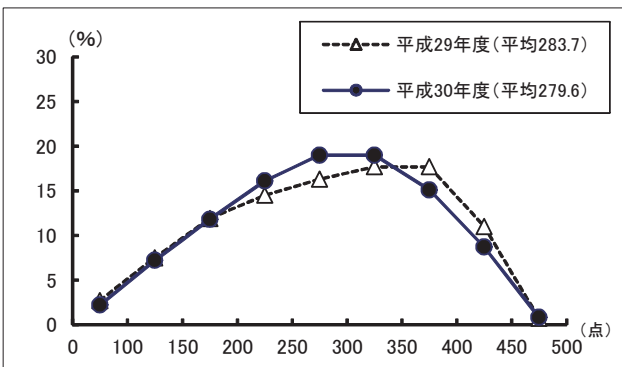


図1 総点の相対度数分布図

2 各教科の成績

表3に各教科の受験者と合格者の平均点と、前年度の受験者の平均点を示す。

表3 各教科の平均点

区分	教科						
	国語	社会	数学	理科	英語	総点	
受験者	平均	61.7 (60.8)	63.4 (58.3)	51.2 (45.4)	51.6 (55.3)	51.7 (64.0)	279.6 (283.7)
	最高	98	100	95	100	100	478
	最低	1	0	0	3	0	31
合格者	62.6	64.4	52.1	52.5	52.7	284.2	

() 内は前年度の平均点

3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語，社会，数学，理科，英語の得点の相対度数分布図を，以下に示す。

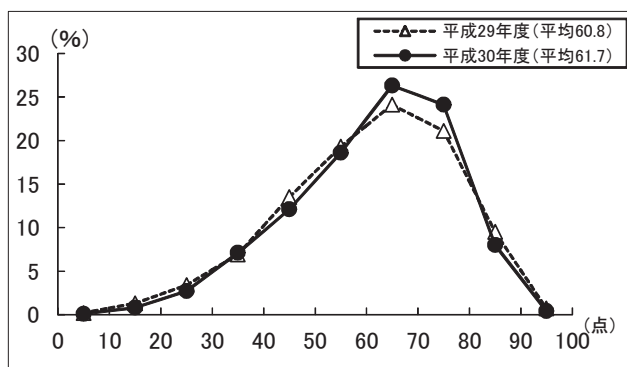


図2 国語

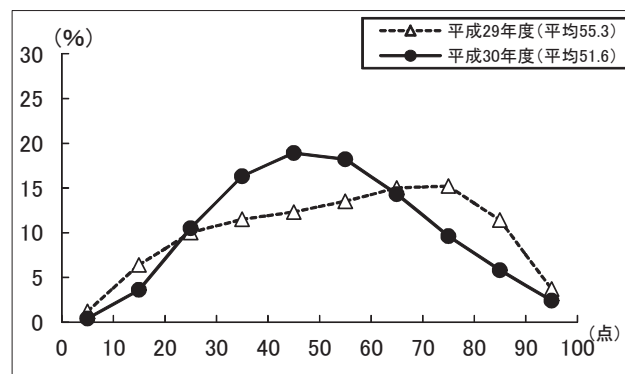


図5 理科

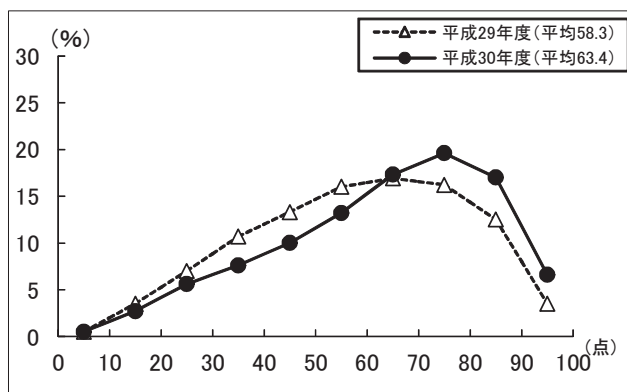


図3 社会

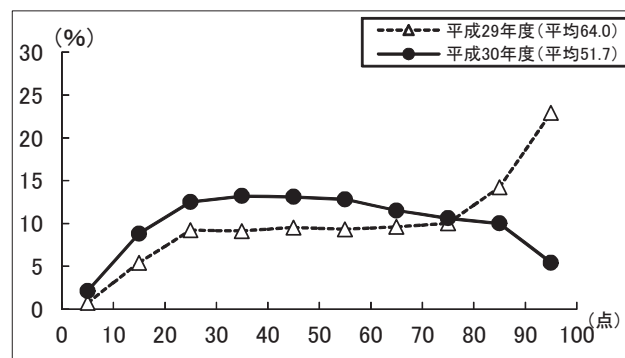


図6 英語

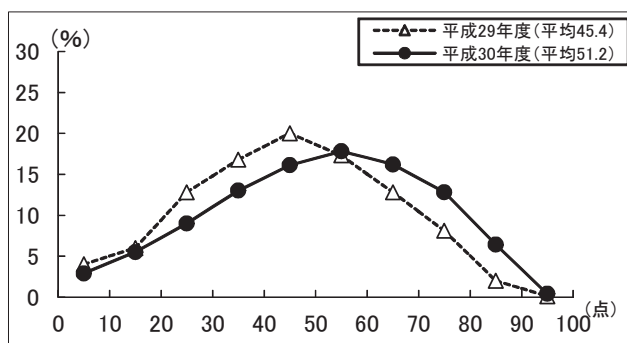


図4 数学

IV 各教科の分析

1 標本の抽出

分析等の調査は、抽出した標本によって行った。

標本については、まず全日制の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点をもとにして50校・学科を抽出し、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人を抽出し標本とした。

2 分析の方法

小問ごとに正答率（完全正解の割合）、無答率を算出し、得点率（配点に対する平均点の割合）も算出した。加えて、標本を調査書総点をもとに三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率も算出した。さらに、誤答例・誤答傾向について、できるだけ詳細に取り上げ、分析を行った。

3 各教科の分析結果の概況

国語 平均点 61.7点（前年度比 +0.9）

叙述に即して文章の内容や展開を捉え、適切に表現する力に課題

漢字に関する事項及び話し合うことに関する事項の問題の正答率が高いことから、知識の定着がうかがえる。また、文章の内容についての選択問題もよくできており、読み取る力がある程度養われている。しかし、空欄補充問題では、前後の表現を的確に捉えられず、適切とは言えない語句を用いて解答したものが多かった。また、本文全体の内容を捉えて記述する問題の無答率も高く、文章の内容を読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力が十分ではないと言える。

文章の内容や表現の仕方について考えさせる学習活動を通して、筆者の主張や文章の展開を的確に捉える力を身に付けさせたい。また、心情や抽象的な概念を表す語句など、言葉についての理解を深め、それらを適切に使用する場面を設定して、語感を磨き語彙を豊かにする指導が求められる。

社会 平均点 63.4点（前年度比 +5.1）

基礎的な知識の活用や、複数の資料を読み取り、関連付けて考察したり、表現したりする力に課題

問題総数、大問の小計は例年どおりである。昨年度より、記述問題の得点率は低かったが、記号・論述問題の得点率が高かったため、平均点は上昇した。しかし、論述問題の正答率の平均は3割台と低い。また、正答率が8割を超える問題数は昨年度とほぼ同じである一方で、記述・論述問題の無答率が上昇しており、二極化の傾向がうかがえる。基礎的・基本的な知識・理解の定着を図る学習指導に加え、知識を活用した思考力・判断力を要する問題にも取り組ませることが必要と考える。何を求められているのか、問題の意図を理解することはもとより、複数の資料を読み取り、それらを関連付けて考察し、適切に表現する力の育成が今後も求められる。

数学 平均点 51.2点（前年度比 +5.8）

条件の意味を考察する力、式やグラフを活用し多面的に考える力に課題

基礎的な計算力をみる問題や、基本的な知識を問う問題では高い正答率となり、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られていることがうかがえる結果となった。

一方、与えられた条件に沿って答えを検討する力や、式やグラフなどを活用しながら既習の知識と組み合わせて多面的に考察し、処理する力には課題が残った。

事象を数理的に捉え、式やグラフなどと関連させながら考察するといった数学的活動を充実させたい。正しい数学用語を用いて互いの考えを伝え合う活動などを通して、論理的に物事を考察する力を身に付けさせる指導が求められる。

理科 平均点 51.6点（前年度比 -3.7）

基礎的・基本的な知識の定着と、実験結果を基に考察し、判断する力に課題

領域別の得点率（前年度比）は、物理領域45.7%（-8.7）、化学領域43.5%（-6.4）、生物領域60.7%（-5.1）、地学領域44.5%（-5.5）であった。

例年に比べると基礎的・基本的な知識を問う選択問題の正答率がやや低かった。語句を記入する問題や定性的な知識を問う選択問題の正答率も高くなく、基礎的・基本的な知識の定着指導については、今後も一層の充実が求められる。

また、実験結果を基に思考・判断する力についても課題が見られた。実験データを基に計算したり、図や文章で表現したりする機会をより一層充実させ、その結果を話し合う活動などを通して、思考力、判断力、表現力の育成を目指す、きめ細やかな指導が求められる。

英語 平均点 51.7点（前年度比 -12.3）

英文の内容を的確に読み取り、正しく表現する力に課題

会話を聞いて内容を理解する力、質問などに対して適切に応答する力をみる問題については、比較的正答率が高く、基本的なコミュニケーション能力の定着が見られた。

一方で、英文の内容を的確に読み取る力については課題が見られた。書き手が伝えようとする内容を正確に読み取るためには、物語では大まかな流れをつかみながら話の展開を読み取ること、説明文では中心となる事柄を的確に捉えることを意識した指導の工夫が求められる。

また、学習した語彙を使って情報や考えを伝える文章づくりにも課題が見られた。場面設定を明確にした言語活動の中で、情報について説明したり自分の考えを表現したりすることを通して、正しく表現する力を身に付けさせることが求められる。

各教科の詳細については、64～68ページの[2]結果の考察に示す。

第二問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

自然の観察から始まった科学であつたけれど、近年になつて(だいたい20世紀くらいから)、理論が先行するようになった。それまでは、現象の観察から法則性を身出させた。まず実験をして、そこから道理を導いた。①、観察や実験から導き出された理論のことがだんだん確かめられ、知見が蓄積してくると、既存の理論に立脚した理論が組み立てられるようになる。これまでみんなが協力して築いた理論を駆使して、とんとん未知の領域へ想像を向ける。そうして、先達の理論が、本まかにいへば、「こう考えたらどうだろう? こう考えれば法則が合うのでは?」という仮説である。その考え方が正しいかどうかは、すぐにはわからない。ただ、そう考えることによって矛盾が大幅に少なくなる、という意味で、「確からしい」という感覚をみんなに与える。そして、その後、技術的な問題を克服して、それが実験で確かめられるようになる。

この頃では、「確かそう仮説」を確かめるために実験を行うのである。そして、最終的に科学では、ときに理屈があり、そのあと(何十年もあつたりする)実験を確認される、という事例が増えてきた。

この頃にもわかるように、「科学的」というのは「実験的」という意味ではない。実験は、科学の道具の一つである。実験よりもっと大切なのは、理屈、つまり「考え方」である。だから、科学的ということを一一般の人の生活のレベルに当てはめれば、たぶん、「よく理屈を考えて」というくらいの意味になるだろうと僕は思う。よく理屈を見極める人が、科学的な人である。

「理屈」というのも言葉ではないか。②「言葉に単純化してわかつたものになるのは、非科学的なのではないか」と思われたかもしれない。たしかに、理屈の多くは言葉でしか表現できない。でも、その意味は少し違う。たとえば、「新幹線が速いのは何故か」という問いに対して、「ひかり号だからですよ」というのが、単純化による言葉だけの理解である。一方、理屈というものはもの成り立ちの理由のことだが、通常はそれが沢山あつて、簡単に説明ができません。言葉も多くなる。説明が長くなるから、どうしても嫌がられてしまつたのだらう。単純化した言葉に拘っている人には、科学者の説明が、「確し言葉」をこねくりまわしている」と感じられるようだ。でも、言葉を駆使して、なんとか理屈を説明しようとしているのである。

ところが、そういう「理屈」よりも「実験」を重んじ、実際にやってみて自分の目で見て確かめることが「科学」だと信じている人が多い。実験で確かめられるとこそが「科学」に相応しいと思つている。この考え方は、全然間違つてゐるというわけではないけれど、実験で観察されることは、すべて科学的に正しいというふうな関連した主張になりがちである。そうなるとう、

問二 本文中に「言葉に単純化してわかつたものになる」とありますが、次の対話で、このことについて話したものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

対話形式の文章。Xさん、Yさん、Xさんのやり取り。A、Bの選択肢を含む。

- (一) A にあてはまる言葉として、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を答えなさい。
ア 重量が長い
イ 簡潔で短い
ウ 技術的に正確な
エ 専門的で複雑な

(二) B にあてはまる言葉を、本文中から十二字でそのまま抜き出して答えなさい。

問四 本文中に「自分の目で見たものが科学的に正しい」とありますが、このことに持する筆者の考えを説明したものととして、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を答えなさい。

正しくはないし、やはり科学的ではない。
③自分の目で見たものが科学的に正しいならば、多くのアジアンはみんな超能力者になつてしまふ。「自分の目で見る」という観察がいかに不確かなものであるかを、手品は教えてくれる。手品は「種を隠す」意図がある行為だが、偶然に観察ミスをおかすことだつてある。人間ならば、多かれ少なかれ、「こうなるはずだ」という先入観があるので、ついそういう目で見てしまふ。
自分が持つてゐる仮説を証明するために実験をしたとしよう。何度やつても良い結果が得られない。それが10回にようやく成功した。「これで仮説は証明された」と喜ぶ。そもそも10回も成功しなかつた9回というのは、いったい何だつたのか? どうして良い結果が得られなかつたのか? もし、同じ手順で実験をしているとしたら、10回に1回しかその結果は現れないのか? それでも、本まかに仮説は「証明」されたことになるのだろうか?
このような事例はとても多いのである。人間、どうしても頭目に見てしまふがちだからだ。だからさ、④「数字」では、一人の研究者がいくら実験結果を報告しても、それで仮説が完全に証明されたとは考えない。別の人が実験をして同じ結果になることを報告し、そういった結果が複数出たところで、ようやく「確からしい」という認識になるのである。
(森田博之「科学的とはどういう意味か」による)

*をつけた語句のへ注
ひかり号——新幹線ひかり号。

問一 本文中の①にあてはまる言葉として、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を答えなさい。

- ア つまり イ しかし ウ もしも H たゞえ

問二 本文中に「実験は、科学の道具の一つである」とありますが、このことを説明したものととして、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を答えなさい。

- ア 科学にとって実験は理屈よりも重要な要素である。
イ 「実験的」とは「科学的」と同じ意味を持つ。
ウ 科学において実験は手段としての役割を持つ。
エ 理論が生ずる最終科学では実験は不要である。

- ア 実験で観察されたことは科学的に正しいので、実験が科学の全てであり、仮説は必要がない。
イ 「種を隠す」意図がある手品は科学的に正しいとは言えないが、「自分の目で見る」実験の結果は信頼できる。
ウ 仮説を確かめるために実験を行うので、一回でも自分の目で見て確かめて証明できれば、その仮説は科学的に正しいと言える。
エ 実験によって自分の目で見て確かめたとしても、先入観や観察ミスがあり得るので、結果に対する判断は正しいとは限らない。

問五 本文中に「科学」では、「一人の研究者がいくら実験結果を報告しても、それで仮説が完全に証明されたとは考えない」とありますが、筆者は、仮説が完全に証明されるにはこのようなことが必要であると述べていますか。その説明として、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を答えなさい。

- ア 仮説を証明するために行つた実験で得られた良い結果に対して、別の人が検証し、同じ結果を複数報告されること。
イ 仮説を証明するための実験を一人の研究者が何度も繰り返して行い、少なくとも一度は良い結果を得ること。
ウ 仮説を証明するために複数の研究者が同じ実験を行い、少なくとも一人が良い結果を得ること。
エ 仮説を証明するための実験を多くの人が同じ手順で行い、様々な結果が複数報告されること。

問六 本文中において、筆者は、どのようにしていくことが科学的であると考へていますか。四十五字以内で説明しなさい。

問七 筆者が考えを述べる上で、本文中で工夫していることについて説明したものととして、最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を答えなさい。

- ア 問いかけに答えていく形を採ることで、読者の抵抗感を取り除きながら、複雑な実験や理論について説明しようとしている。
イ 対句や反復などの表現技法を多用して説明することで、読者の印象を強め、要旨が明確に伝わるようにしている。
ウ 最初に結論を述べ、根拠として専門家の意見を複数引用することで、主張に説得力を持たせようとしている。
エ 難しくなりがちな内容を、平易な表現やたとえを用いて説明することで、読者の理解が深まるようにしている。

第三問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

師「一年、岐阜^①・鶴岡^②の時、鶴匠^③一人に十二羽つづ、舟に漕^④して、その
ひかりに足^⑤をつかふ。十二筋の縄、縦横にもちれて、ちばきむつかしき事
を、身^⑥に足^⑦をなす。鶴匠^⑧にこの事を尋ねれば、「まづもぢれぬよりちばき
で、なまるちなるものをまたさばく。むつかしくもぢれたるもの、ひより
ほりちばくる」といへり。「万^⑨にこの心はあるべし」となり。

(「三冊子」による)

*をつけた語句の入注
師——ここでは、松尾芭蕉のこと。
鶴匠——縄をつないだ水鳥の縄を使って行う漁
鶴匠——鶴岡を職業とする人。

問一本文中の「つかふ」の主語を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 師 イ 一年 ウ 鶴匠 エ 是

問二本文中に「この事」とありますが、その内容を説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鶴匠の様子を写物することの許可。
イ 鶴をつなぐ縄の数が十二本である理由。
ウ 鶴匠と鶴の間の縄をからませる方法。
エ 鶴匠が縄を張るための技術。

問三本文中に「この心」とありますが、次の文は、これについて説明したものです。□に入る適切な表現を考慮して、十五字以内で答えなさい。

複雑で解決が困難にみえるものでも、□、自然と解決できるということ。

問一 Aさんの中学校では、「新入生を迎える会」で、学校行事の紹介を行います。Aさんのクラスは合唱コンクールの紹介を担当することになり、紹介する内容について話し合いました。回会はAさんです。次は【話し合いの一部】で、内容が決定した後に行った【紹介の練習の一部】です。あとの(一)～(四)の問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

- 〈Aさん〉 合唱コンクールの紹介内容について話し合いました。どんなことを紹介したらいいか、意見はありませんか。
- 〈Bさん〉 合唱コンクールの時期や曲目を入れると思います。
- 〈Cさん〉 賛成です。今年はいっ行われるのか、去年入賞したクラスの曲は向だったのかなどを紹介できると思います。
- 〈Aさん〉 では、今年の合唱コンクールの開催日と、去年入賞したクラスの曲名を紹介するということでもいいでしょうか。
- 〈全員〉 いいです。
- 〈Aさん〉 他に意見はありませんか。Dさんはどうですか。
- 〈Dさん〉 はい。去年の合唱コンクールの後にアンケートをとったので、その結果を紹介するのでもいいと思います。
- 〈Aさん〉 どうしてアンケート結果を使おうと思ったのですか。
- 〈Dさん〉 アンケート結果を紹介すると、練習の様子や発表のときの気持ち、終わった後の感想などを伝えられると思ったからです。
- 〈Bさん〉 賛成です。去年のアンケートでは、「とても楽しかった」という感想が多かったと思います。
- 〈Cさん〉 私もいい考えだと思います。それに、去年は家族や地域の方々にも来場者アンケートをお願いしたので、その結果も紹介するというのはどうでしょうか。
- 〈Bさん〉 来場者アンケートの結果も紹介することに賛成です。いろいろな立場からの感想や意見を紹介すると、合唱コンクールの良いところが伝わると思っています。
- 〈Aさん〉 それでは、合唱コンクールが楽しい行事だということを伝えるために、去年の生徒アンケートや来場者アンケートの結果を紹介するということでもよろしいでしょうか。
- 〈全員〉 はい。

第四問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～④のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

- ・ 町の発展^①を促^②す。
- ・ 厳^③かな式典に参加する。
- ・ 美^④しい旋律が聞^⑤こえる。
- ・ 体育館使用の許可を申請^⑥する。
- ・ 朝寝^⑦さき顔^⑧をアテ^⑨う。
- ・ 時計のハリ^⑩が進む。
- ・ 注意事項^⑪をネット^⑫上に置いて行動する。
- ・ 贈り物^⑬を紙で丁寧にホウ^⑭ソウする。

【紹介の練習の一部】

生徒アンケートの結果にもあるように、合唱コンクールは、とても楽しいと思える行事です。毎年、地域の方々も大勢いらっしゃって、私たちの発表^①を拝見^②します。去年の来場者アンケートでは、「どのクラスもすばらしい合唱だった。努力が伝わってきて感動した。」という感想をたくさんいただきました。合唱には、人が感動する力があります。新入生^③皆さんへ、今年も感動的な合唱コンクールになるように、私たちと一緒に楽しく盛り上げましょう。

- (一) 【話し合いの一部】の中に「今年の合唱コンクールの開催日と、去年入賞したクラスの曲名を紹介する」ということでもいいでしょうか。」とありますが、この発言の働きとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 出された意見を受けてまとめる働き。
イ それぞれの意見の矛盾点を指摘する働き。
ウ 話し合いの目的に合った意見を求める働き。
エ 対立している意見の中から一つに決定する働き。
- (二) 【話し合いの一部】の中の「それに」で始まる発言の意図として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 相手の意見と自分の意見の共通点を探そうとしている。
イ 相手の意見に対して反論しようとしている。
ウ 相手の意見に付け足して賛成しようとしている。
エ 相手の意見の問題点を指摘しようとしている。
- (三) 【紹介の練習の一部】の中の「拝見します」を、適切な敬語表現に直しなさい。
- (四) 【紹介の練習の一部】の中に「合唱には、人が感動する力があります。」とありますが、一文として適切な表現になるように、「人が感動する」の部分で、「感動」という言葉をそのまま用いて、七字で直しなさい。